

第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」

# 校区きずな計画

## 総合評価書

社会福祉法人 登別市社会福祉協議会・きずな推進委員会

## 1. はじめに

- 第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」における校区きずな計画は、8小学校区ごとに重点項目別の評価を毎年度作成することとしています。
- 2016年度～2020年度における校区ごとの取り組み状況について、校区きずな推進委員会内で評価を行いました。
- 2及び3に掲げる評価指標に基づき点数化を行い、レーダーチャートとして図式化を行いました。
- 掲載しているきずな推進委員の名簿については、2021年3月31日現在の状況としています。

## 2. 総合評価の指標について

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	・校区の実態を確認することができたか 例)住民座談会等で校区の課題などを確認できた。		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;">                     第3期の5か年を振り返り、 協議のポイントを評価指標ごとに 箇条書きで記載                 </div>
②知る (学ぶ)	・知る、学ぶ機会を設けることができたか 例)住民座談会等で学ぶ機会を設けることができた。		
③つながる	・関係する団体等とどの程度つながることができたか 例)関係団体と連携して取り組むことができた。		
④伝える	・どのくらいきずなを伝えることができたか 例)住民等に取り組み内容等を伝えることができた。		
⑤高める	・地域をよりよくすることにつながったか 例)取り組みを実施して機運の高まりを感じられた。		

## 3. 評価点数の内容について

評価点数	内容
1	計画されていたが取り組めなかった
2	一部の取り組みしかできなかった
3	計画どおり取り組むことができた
4	取り組みができ、一定の成果があった

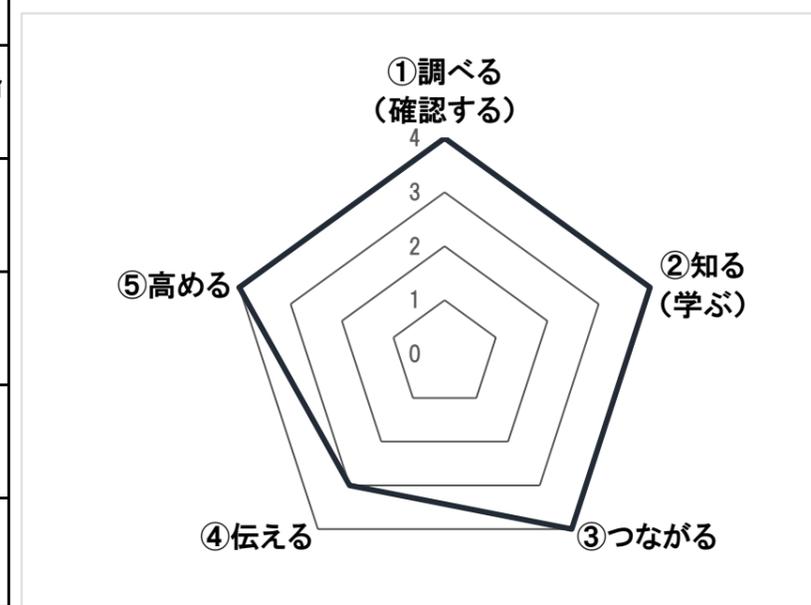
## 4. 目次

(1)登別小学校区…… 2ページ	(5)青葉小学校区……21ページ
(2)幌別東小学校区… 7ページ	(6)富岸小学校区……26ページ
(3)幌別小学校区……11ページ	(7)若草小学校区……31ページ
(4)幌別西小学校区…16ページ	(8)鷺別小学校区……36ページ

# 登別小学校区

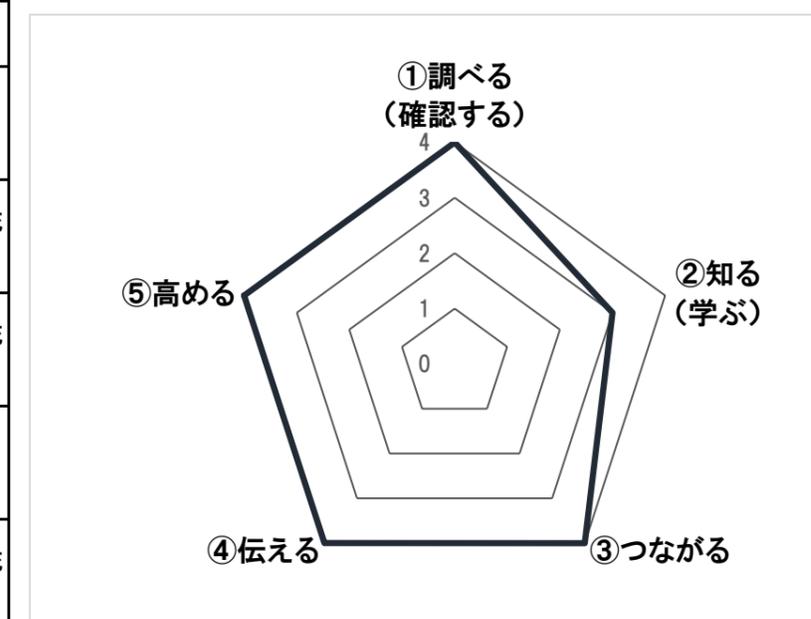
## 校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	校区きずな推進委員会を定期的に開催し、参加委員で地域の実情と課題を確認し合うことができた。	4	今後も地域の実情を確認し合いながら、課題解決を目指し検討を進めていく。
②知る (学ぶ)	住民座談会ではきずな推進委員以外の住民とも意見を交わし、学び合うことができた。	4	住民座談会で広く住民と学び合う機会を大切にしてい
③つながる	買物支援のモデル事業実施に向けて、校区委員会へ商店会や社会福祉法人に参加をもらいつながりを広げることができた。	4	校区内の関係者と連携を図りながら、今後も協議を進めていく。
④伝える	住民座談会では、きずな活動についてや今の地域課題について伝えることができた。	3	今後も広く校区の住民に地域の実情やきずなの取り組みを伝えていくことを目指す。
⑤高める	校区委員会、住民座談会場で買物支援モデル事業実施に向け機運を高めることができた。	4	買物支援実施を目指し今後も協議を進めていく。
関係者の様子・声	毎回熱心な話し合いが行われていたが、より多くの参画を募りながら進めていく必要がある。		



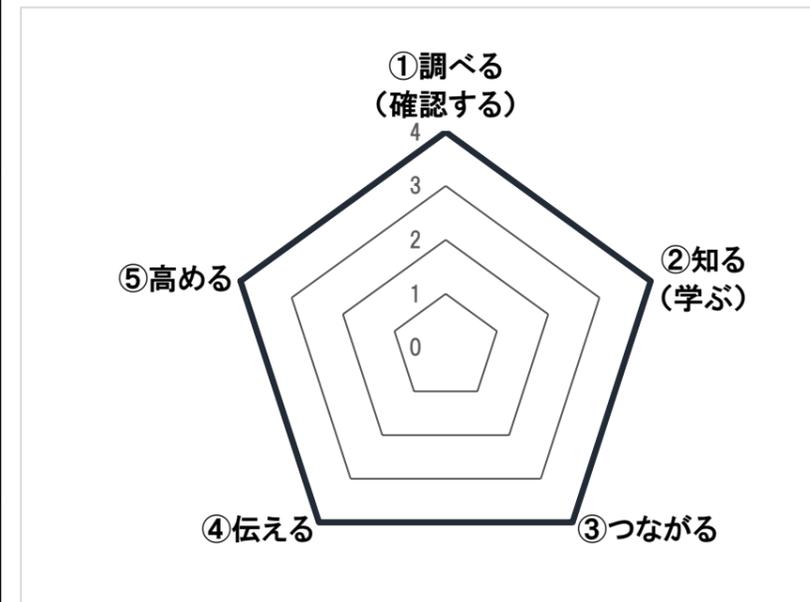
## 日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	小地域ネットワーク活動は11町内会から15町内会の実施へと広がった。	4	それぞれの町内会によって地域特性が異なるが、必要に応じ活用できるよう今後も事業を推進していく。
②知る (学ぶ)	日頃からの地域での見守り活動や小地域ネットワーク活動の充足を通し学びを深めることができた。	3	今後も地域の見守り活動の必要性を学び合いながら、充足を目指していく。
③つながる	地域での見守り活動や小地域ネットワーク活動の充足を通し地域につながりを生むことができた。	4	今後も地域の見守り活動の必要性を学び合いながら、充足を目指していく。
④伝える	住民座談会等の場面で小地域ネットワーク活動をはじめとする見守り体制の必要性を伝えることができた。	4	住民と広く学び合う機会を設けながら、充足を図っていく。
⑤高める	小地域ネットワーク活動の推進により、地域の見守り体制の充実を図ることができた。	4	今後も地域の見守り活動の必要性を学び合いながら、充足を目指していく。
関係者の様子・声	コロナ禍では各町内会の独自の見守り活動や、「まごころレター」の配布といった間接的なつながり維持の活動も広がりを見せた。		



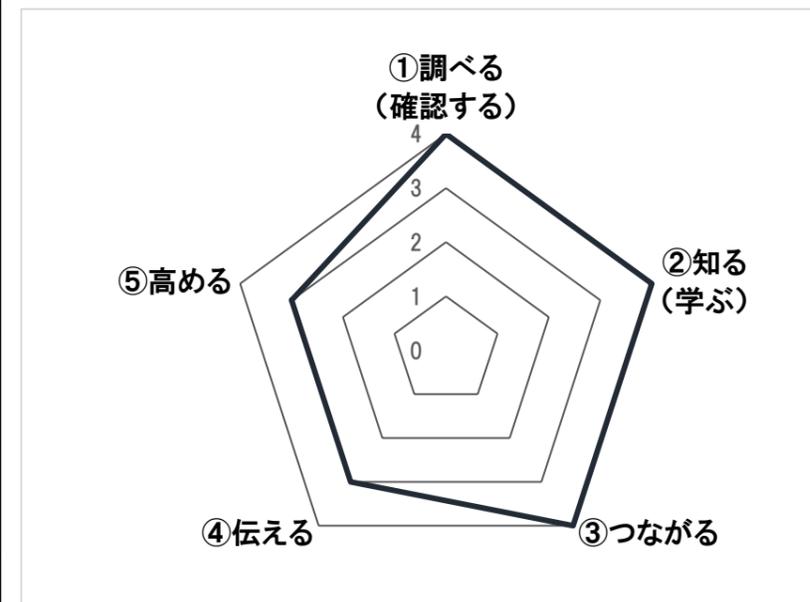
## 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会の推進)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	安定したサロン活動が実施され、地域の大切な居場所として役目を果たしている。会食会と合わせ住民の交流の機会となった。	4	地域の状況に応じ、交流の機会の活用や支援を継続していく。
②知る (学ぶ)	サロン運営者の研修会等の実施を通し学びを深める機会を設け、より良い活動の展開を図ることができた。	4	今後も学び合える機会を設けながら、地域の居場所づくりを推進していく。
③つながる	サロンや会食会への参加を通し地域の中に人と人とのつながりが生まれるきっかけとなった。	4	関係機関とも連携を図りながら、今後もつながりづくりを充足させていく。
④伝える	人とのつながりを生むことや居場所の必要性を地域の中で共有していくことができた。	4	今後も広く住民に活動の意義や活用できるような情報を発信していく。
⑤高める	多くの活動者がサロンや会食会の意図を理解し、学び高め合う雰囲気であった。	4	今後も活動を継続し、地域の実情に合わせた充足を図っていく。
関係者の様子・声	コロナ禍を経て、改めてこれまで築き上げてきたサロンや会食会での地域のつながりの必要性を確認した。		



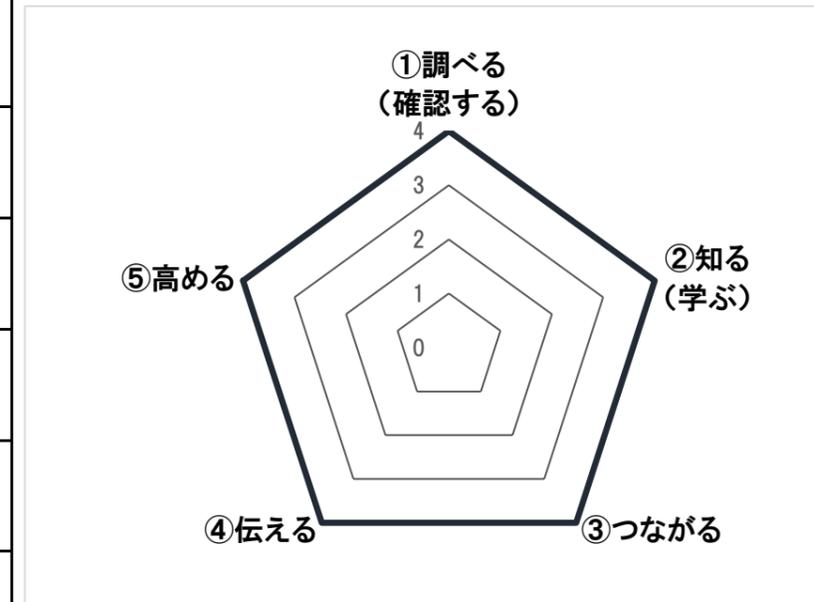
## 生活環境の整備(空家の有効活用、除雪やゴミ出し等ちょっとしたことの支援)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	鍵預かりサービス事業を展開し、買い物支援事業実施に向け検討を行うことができた。	4	地域の実情を確認し合いながら、生活支援事業の充足を目指していく。
②知る (学ぶ)	温泉地区連の協力の元、高齢世帯へ買い物に関するヒアリングを行い、地域の実情を把握することができた。	4	地域の実情や声を取り入れた事業展開を目指していく。
③つながる	買い物支援のモデル事業実施に向け校区内の社会福祉法人や商店会と連携を図りながら検討を進めることができた。	4	校区内の関係機関とも連携を図りより良い推進を目指していく。
④伝える	買い物支援のモデル事業実施に向け、校区全体に趣旨を広く伝えながら協力を募っていく必要がある。	3	説明会等の機会を通し校区全体に伝えていくことを目指す。
⑤高める	買い物支援のモデル事業実施に向け、校区委員の機運を高めることができた。	3	モデル事業実施に向け、今後も校区全体のモチベーションを高めながら進めていく。
関係者の様子・声	買い物支援の必要性を校区委員会内でも共有し、ヒアリングを通じて高齢者の要望の確認ができた。		



## 人材育成(お茶の間会議の実施)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	多世代が交わり、自分の地域の実情を確認し合う貴重な機会として展開することができた。	4	校区の特色として定着してきているため、今後も大切な機会として継続していく。
②知る (学ぶ)	世代を超え、同じ住民として地域の実情を学び合うことができた。	4	今後も地域の実情を学び合うことのできる機会としていく。
③つながる	生徒と住民につながりのきっかけが生まれ、学校とも関係性を築くことができています。	4	学校側とも協力しながら今後も貴重な機会として実施していく。
④伝える	地域活動者の口から日頃の活動のことを生徒達へ伝える時間を持つことができた。	4	互いの理解を深めるため、今後も内容を工夫しながら実施していく。
⑤高める	互いの考えに触れることで、住民も生徒達も高め合うことができています。	4	今後も学び高め合える機会を目指していく。
関係者の様子・声	若い世代と関われることに地域住民からは前向きな声がかかれ、学校側としても多世代が交流できる貴重な機会として評価してくれている。		



## 校区きずな推進委員会 委員

リーダー	田畑 恒義	きずな推進委員	畠山 基子	きずな推進委員	須賀 武郎
サブリーダー	桶屋 純一	きずな推進委員	吉岡 政美	きずな推進委員	飯島 武
サブリーダー	伊藤 芳雄	きずな推進委員	成田 光男	きずな推進委員	和田 卓士
きずな推進委員	日野 安信	きずな推進委員	田代 健二	きずな推進委員	太田 憲明
きずな推進委員	中川 信市	きずな推進委員	勝間 広靖		

## 退任委員

きずな推進委員	山口 富智子	きずな推進委員	柳瀬 雅俊
---------	--------	---------	-------

1. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

平成28年(第3期1年目)

登別温泉地区連合町内会	中登別町内会
登別東町2町会	登別東町第三町会
登別東町第4町会	登別東町第五町会
登別本町会	

実施率 61.1% ( 11 / 18 )

令和2年(第3期5年目)

登別温泉地区連合町内会	新登別町内会
中登別町内会	登別東町一町会
登別東町2町会	登別東町第三町会
登別東町第4町会	登別東町第五町会
登別本町会	登別本町2町会
登別東町団地町内会	

実施率 88.2% ( 15 / 17 )

2. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあいいきいきサロン

平成28年(第3期1年目)

みどり会
登別東町2町会いきいきサロン
登別東町第三町会ふれあいサロン
登別東町第5町会ふれあいサロン
ふれあいサロン花園

令和2年(第3期5年目)

みどり会
登別東町2町会いきいきサロン
登別東町第三町会ふれあいサロン
登別東町第5町会ふれあいサロン
ふれあいサロン花園

ふれあい会食会

平成28年(第3期1年目)

登別温泉地区連合町内会	新登別町内会
中登別町内会	登別東町一町会
登別東町2町会	登別東町第三町会
登別東町第4町会	登別東町第五町会
登別本町会	登別本町2町会

実施率 77.8% ( 14 / 18 )

令和1年(第3期4年目) ※令和2年は事業中止

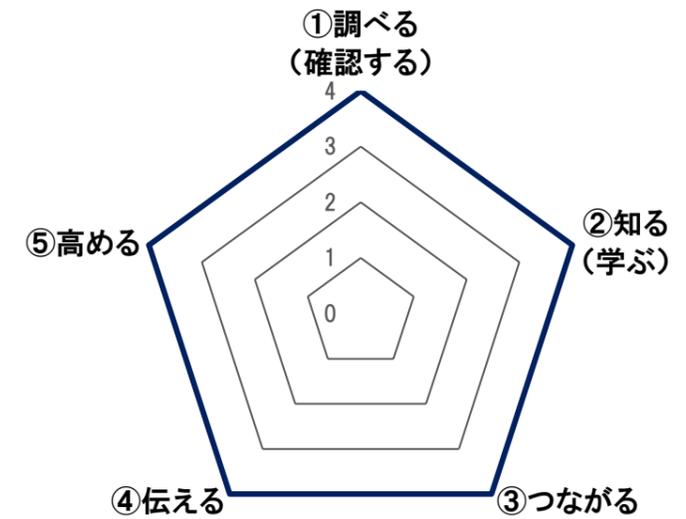
登別温泉地区連合町内会	新登別町内会
中登別町内会	登別東町一町会
登別東町2町会	登別東町第三町会
登別東町第4町会	登別東町第五町会
登別本町会	登別本町2町会

実施率 82.4% ( 14 / 17 )

# 幌別東小学校区

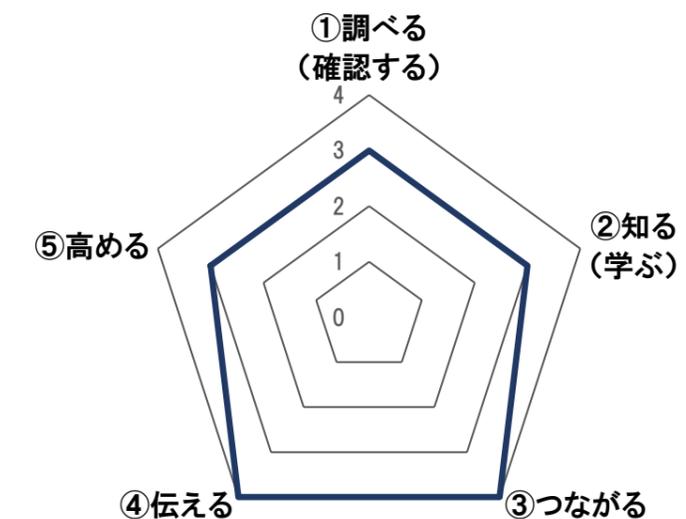
校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民福祉座談会の開催)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	幌別鉄南地区連合町内会(8単位町内会)の会議の際に、地域福祉について話し合いを行ってきた。	4	継続して実施する
②知る (学ぶ)	日頃より幌別鉄南地区連合町内会事務局で、8単位町内会の情報交換を行っている。	4	継続して実施する
③つながる	町内会の各種行事において地域のきずなが深まってきている。	4	継続して実施する
④伝える	幌別鉄南地区連合町内会の活動を通して、地域での人と人とのつながりの大切さを伝えてきた。	4	継続して実施する
⑤高める	各種行事において、きずなの機運を高めることが出来た。	4	継続して実施する
関係者の様子・声	コロナ禍で開催できないこともあるが、これまでの積み重ねが日頃の活動に生きている。		



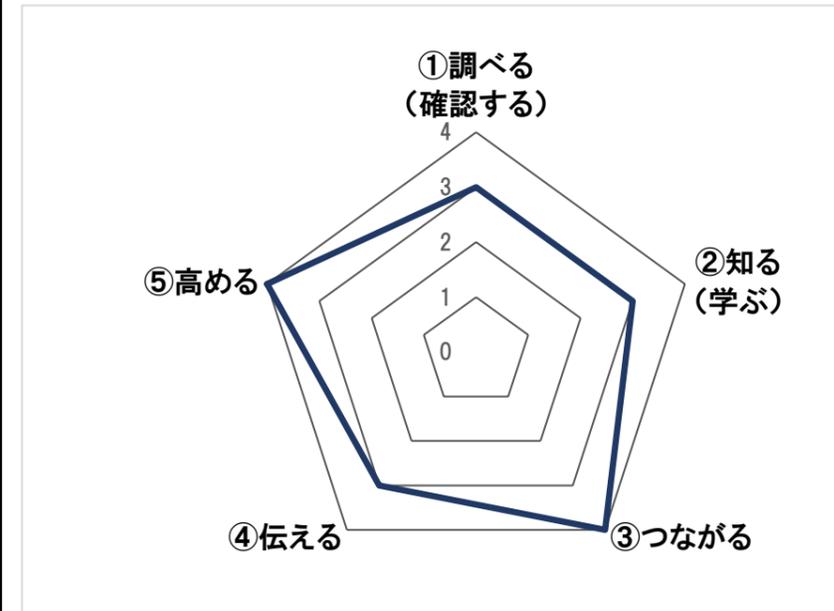
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実、防災・防犯活動の推進)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	各町内会では、きずな安心キットの配付を通じて地域の状況を確認することが出来た。	3	継続して実施する
②知る (学ぶ)	きずな安心キットを配付した方との日頃の声かけ・見守りにより健康状態や日常生活での悩み等について地域で把握が出来ている。	3	継続して実施する
③つながる	幌別鉄南地区連合町内会(8単位町内会)主催の各種行事や緊急連絡網の整備等により、コロナ禍であっても地域内のきずなも生まれている。	4	継続して実施する
④伝える	きずな安心キットの配付や避難訓練等の取り組みにより、地域の要支援者が各町内会で把握され災害時等に情報が伝えることが出来る様になってきている。	4	継続して実施する
⑤高める	日頃からの「向こう三軒両隣」のきずなの考え方を浸透していき、地域で支え合い・助け合いの活動をコロナ禍でも進めてきた。	3	継続して実施する
関係者の様子・声	小地域ネットワーク活動が福祉活動の原点。単発的な取り組みではなく、継続的な取り組みにする必要がある。		



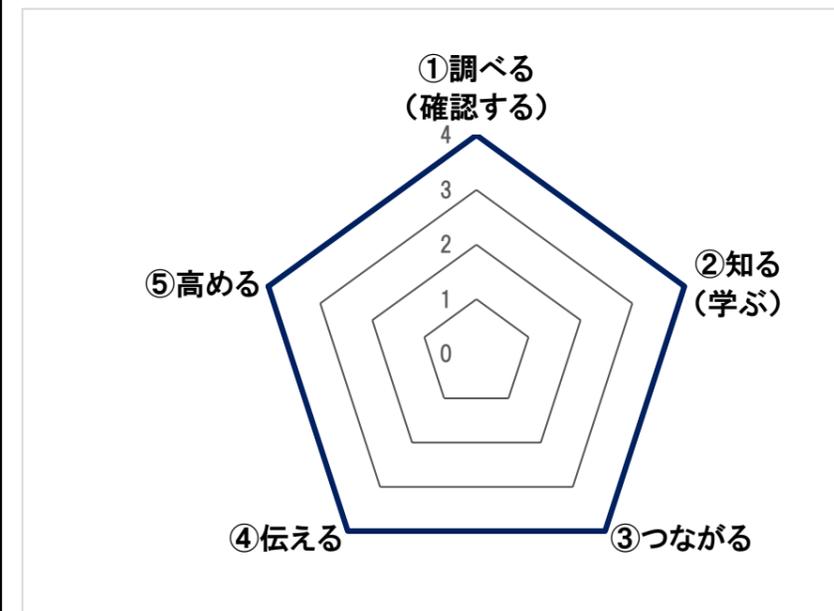
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロンの推進、ゆめみ～るとの連携)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	地域の福祉の現状を各单位町内会において日頃からの活動を通して確認している。	3	継続して実施する
②知る (学ぶ)	地域の居場所として、ゆめみ～るとの周知を図ることが出来た。	3	継続して実施する
③つながる	ゆめみ～るとの朝市やふれあいセンター周辺の草刈作業、旧国道沿道草取り作業などの活動を通して地域のつながりができている。	4	継続して実施する
④伝える	コロナ感染予防策を考えたいうえで各单位町内会では安定した活動を行うことが出来たが、活動においてきずなを伝える努力が必要と感じている。	3	継続して実施する
⑤高める	ゆめみ～るとを拠点にした日常生活支援(朝市、配食、フードバンク、子ども食堂など)により地域福祉に貢献している。	4	継続して実施する
関係者の様子・声	ゆめみ～るとが地域にあり、それを地域がバックアップしていることで地域内の連携が強固になっている。		



地域交流の促進(生きがいと世代間交流の促進)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	幌別東小学校との地域交流により、子ども達の現状を知ることができた。	4	継続して実施する
②知る (学ぶ)	幌別東小学校運動会dの地域種目の参加や学習発表会の参加等により世代間交流を深めた。	4	継続して実施する
③つながる	幌別東小学校や地域老人クラブとの連携を深めた。	4	継続して実施する
④伝える	世代間交流を行う中で、あらためてきずなの大切さを伝えることができた。	4	継続して実施する
⑤高める	幌別東小学校児童との交流により、地域の生きがいづくり等に寄与することができた。	4	継続して実施する
関係者の様子・声	コロナ禍で開催できないこともあるが、これまでの積み重ねが日頃の活動に生きている。		



## 校区きずな推進委員会 委員

---

リーダー	森 芳昭	きずな推進委員	竹中 洋子
サブリーダー	田淵 利男	きずな推進委員	杉尾 直樹
サブリーダー	鳴海 文昭	きずな推進委員	渡辺 麗子
きずな推進委員	松原 憲康		
きずな推進委員	對馬 敬子		

1. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

平成28年(第3期1年目)

すずらん団地町内会	幌別鉄南第5町内会
幌別第一町内会	幌別鉄南第6町内会
幌別第二町内会	幌別鉄南第7町内会
幌別第三町内会	幌別鉄南第8町内会

実施率 100.0% ( 8 / 8 )

令和2年(第3期5年目)

すずらん団地町内会	幌別鉄南第5町内会
幌別第一町内会	幌別鉄南第6町内会
幌別第二町内会	幌別鉄南第7町内会
幌別第三町内会	幌別鉄南第8町内会

実施率 100.0% ( 8 / 8 )

2. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

平成28年(第3期1年目)

てつなん
いきいきサロンききょう
いきいきサロン一刻者

令和2年(第3期5年目)

てつなん
いきいきサロンききょう
いきいきサロン一刻者

ふれあい会食会

平成28年(第3期1年目)

すずらん団地町内会
幌別第二町内会
幌別第三町内会
幌別鉄南第5町内会
幌別鉄南第8町内会

実施率 62.5% ( 5 / 8 )

令和1年(第3期4年目) ※令和2年は事業中止

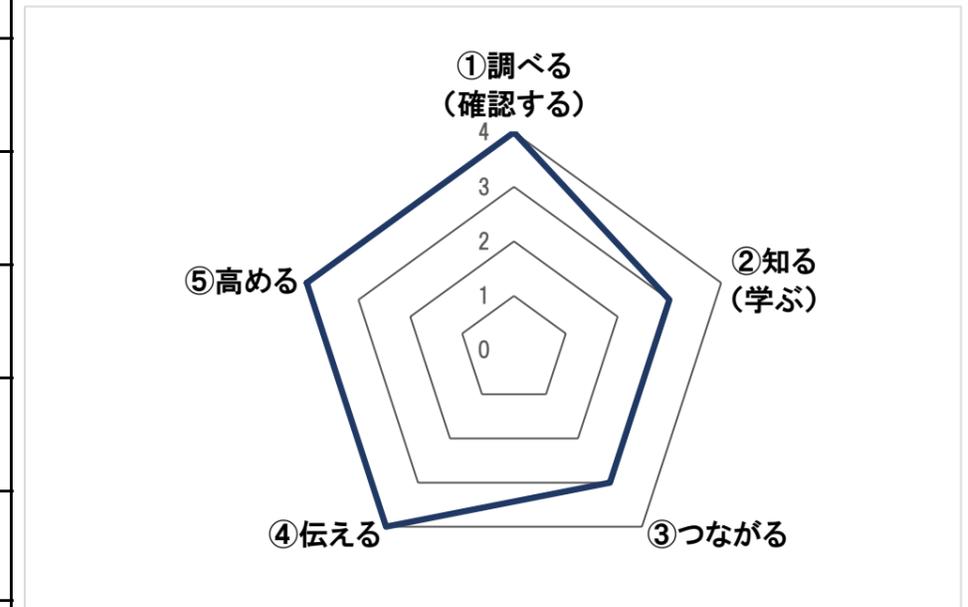
すずらん団地町内会	幌別鉄南第8町内会
幌別第二町内会	
幌別第三町内会	
幌別鉄南第5町内会	
幌別鉄南第7町内会	

実施率 75.0% ( 6 / 8 )

# 幌別小学校区

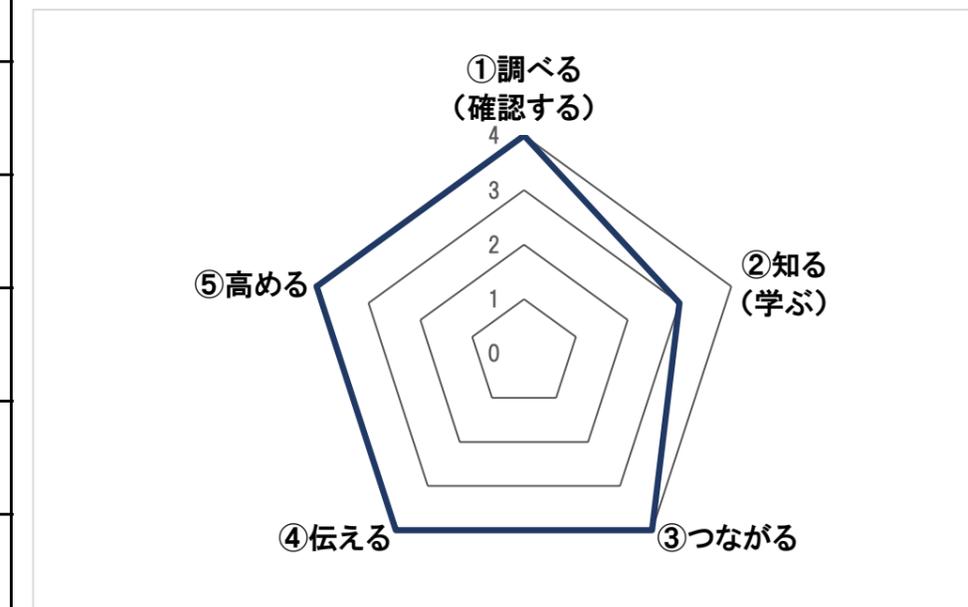
## 校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	校区きずな推進委員会や各種会議等において、都度地域の状況を確認した。	4	会議の場はもちろん、普段の地域での活動の場から直接状況を確認する機会が必要である。
②知る (学ぶ)	校区きずな推進委員会として学びの機会の設けることは不十分であったが、各地域では活発に行われている。	3	状況を見ながら、その時取り組めることを行っていく。
③つながる	校区きずな活動を推進するにあたり、適宜関係する団体等とつながりを持った。	3	つながりを生かし、地域住民の暮らしを支えていく。
④伝える	日々のきずな活動において、きずなの必要性を伝えていった。	4	継続して実施する。
⑤高める	きずな活動を通して、地域福祉への意識の維持・向上を図った。	4	なぜきずなや地域福祉活動等が必要なのかを再確認し、単なる取り組み内容の伝承ではなく想いを伝承していく方法を検討する。
関係者の様子・声	・きずなの取り組みがなぜ重要なのかを地域の関係団体に理解を促し、参画を促す必要がある。		



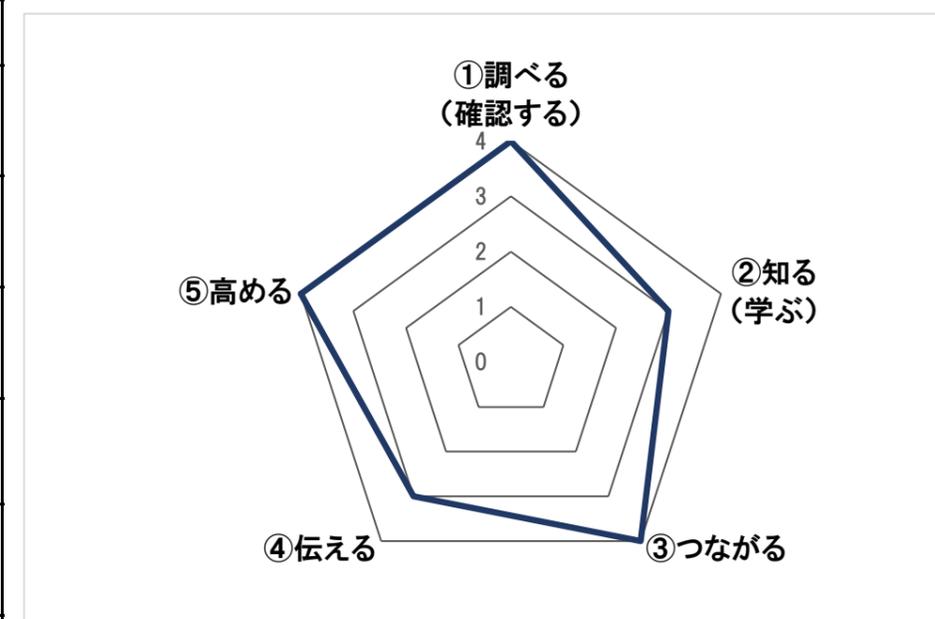
## 日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	地域の状況に応じた見守り活動が実施されている。	4	継続して実施する。
②知る (学ぶ)	校区きずな推進委員会として学びの機会の設けることは不十分であったが、各地域では活発に行われている。	3	見守り活動に関わる担い手に対する、福祉活動の意義や目的を学ぶ機会を設ける必要がある。
③つながる	まごころレターの取り組みを実施する地域や個人も多く(7団体等200部程度配布)、つながりの構築に寄与できた。	4	より関係機関・団体等と地域の課題について話し合う機会が必要。
④伝える	日頃の活動を通して見守り活動の重要性を伝えている。	4	地道に伝え続けていく必要がある。
⑤高める	日頃の活動を通して地域の意識が高まるよう努めている。	4	継続して実施する。
関係者の様子・声	・町内会と民生委員とが連携しながら見守りを進められる体制づくりが必要ではないだろうか。 ・小さい町内会ほど活動への敷居が高いのではないだろうか。		



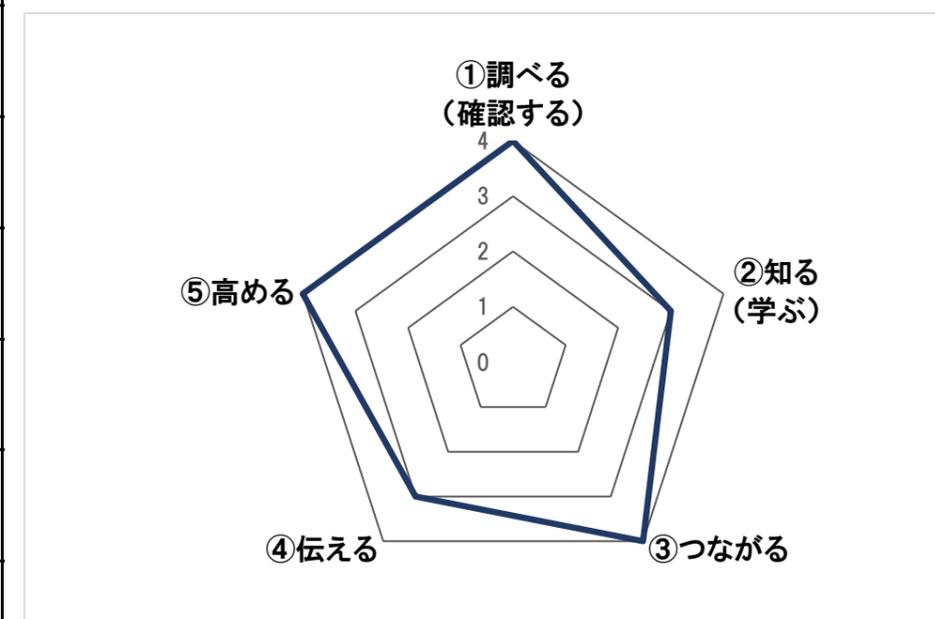
## 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロンの推進)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	サロン活動によって、地域の実情を確認する機会となっている。	4	サロンとしてできる活動をできる範囲で行う。
②知る (学ぶ)	校区きずな推進委員会として学びの機会の設けることは不十分であったが、各地域で実施されている。	3	都度振り返りや反省を継続して行っていくことが学びにつながる。
③つながる	各サロンにおいて、町内会・民生委員・老人クラブ・専門職等がつながる機会があった。	4	関係機関・団体等と連携し合い、校区の福祉について考えることが必要。
④伝える	きずなや福祉活動の必要性を伝える場として機能した。	3	継続して地域住民が安心して暮らせるための福祉とはなにかを伝える機会として機能させる。
⑤高める	地域の居場所として地域福祉の向上に寄与した。	4	コロナ禍の影響で先行き不透明であるが、継続して実施していく。
関係者の様子・声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で実施できない時期が長いが、まごころレターの配布でつながりを維持している。</li> <li>・参加者が毎回楽しみにしている。</li> </ul>		



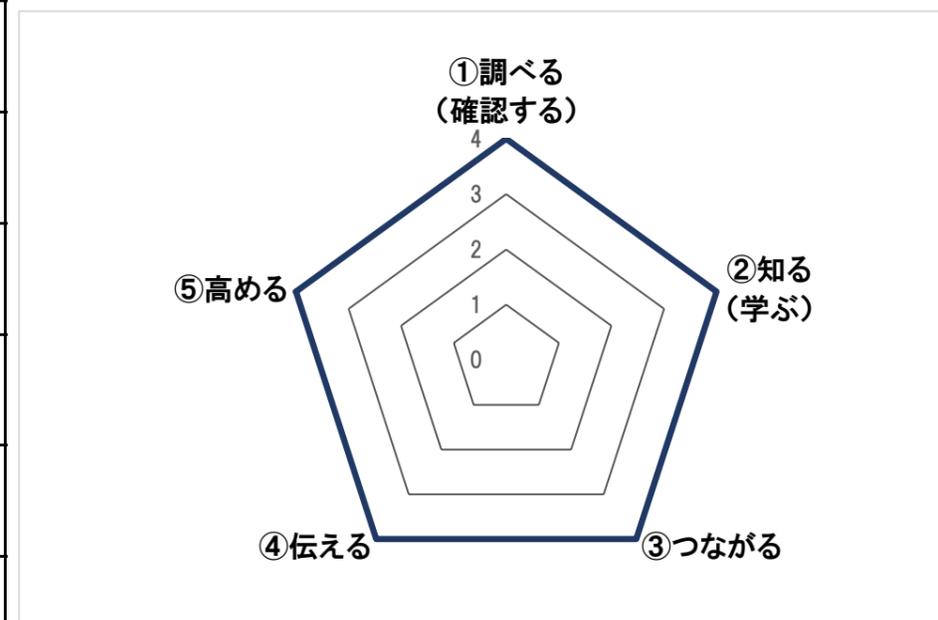
## 高齢者・障がい者等の声かけ見守り(向こう三軒両隣)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	鍵預かりサービス事業の実施等により、地域の実情を確認しながら活動を進めた。	4	継続して実施する。
②知る (学ぶ)	校区きずな推進委員会として学びの機会の設けることは不十分であったが、各地域で実施されている。	3	コロナ禍の影響により先行き不透明であるが、声かけ見守りの必要性について学ぶ機会を設定する。
③つながる	各種事業を通じて、様々な福祉関係者とつながりあうことができた。	4	継続して実施する。
④伝える	活動を通じて、高齢者や児童への声かけ見守りの必要性などを伝えている。	3	活動がなぜ必要なのかなど質の部分伝えていく。
⑤高める	活動を継続することが、地域福祉の意識や価値を高めることにつながる。	4	継続して実施する。
関係者の様子・声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の見守りは行われている。</li> <li>・互いに気にかけてあう関係性づくりには時間がかかる。</li> </ul>		



## 防犯・防災活動

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	各地域において、胆振東部地震の経験等を生かしながら活動が行われている。	4	これまでの教訓を踏まえ避難場所などの確認・検討を進めていく。
②知る (学ぶ)	日々の活動において防災・防災への学びに自然に寄与している。	4	継続して実施する。
③つながる	日頃のつながりを生かしながら、適宜関係者とつながりを持っている。	4	継続して実施する。
④伝える	日頃からの防犯・防災に関する取り組みの必要性を伝えている。	4	自主避難所の重要性やあり方などについて地域が考えられるように働きかけていく必要がある。
⑤高める	自助・互助の意識の高まりに寄与した。	4	きずな推進委員自身が校区の福祉の第一線にいるという自覚を持ち、学んでいく姿勢が必要である。
関係者の様子・声	・日頃の活動のおかげで、災害時の安否確認を迅速化することができている。		



## 校区きずな推進委員会 委員

サブリーダー	竹中 脩嚴	きずな推進委員	伊清 淳彦	校区きずな推進委員	及川 富夫
サブリーダー	山崎 敏男	きずな推進委員	八島 年勝	校区きずな推進委員	今 平人
きずな推進委員	千葉 一男	きずな推進委員	脇 俊昭		

## 退任委員

きずな推進委員	畠山 重信	きずな推進委員	畑山 功一	きずな推進委員	前野 充紀子
きずな推進委員	森 正信	校区きずな推進委員	武藤 紀康		

1. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

平成28年(第3期1年目)

新栄町内会	中央町駅前町内会
千歳町内会	中央町十字街町内会
緑ヶ丘町内会	中央町新生町内会
南千歳町内会	中央町内会
常盤町内会	

実施率 50.0% ( 9 / 18 )

令和2年(第3期5年目)

札内・来馬地区連合町内会	常盤町内会
新栄町内会	中央町駅前町内会
千歳町内会	中央町十字街町内会
緑ヶ丘町内会	中央町新生町内会
南千歳町内会	中央町内会

実施率 72.2% ( 13 / 18 )

2. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

平成28年(第3期1年目)

われら・いきいき探偵団	ゲンキアップニナルカ
中央東町内会いきいきサロン	南千歳町内会いきいきサロン
中央新生町内会いきいきサロン	
常盤ラポールサロン	
ときわ常楽サロン	

令和2年(第3期5年目)

われら・いきいき探偵団
中央東町内会いきいきサロン
常盤ラポールサロン
ゲンキアップニナルカ
南千歳町内会いきいきサロン

ふれあい会食会

平成28年(第3期1年目)

千歳町内会	中央町十字街町内会
緑ヶ丘町内会	中央町内会
南千歳町内会	中央東町内会
ニナルカ町内会	
常盤町内会	

実施率 44.4% ( 8 / 18 )

令和1年(第3期4年目) ※令和2年は事業中止

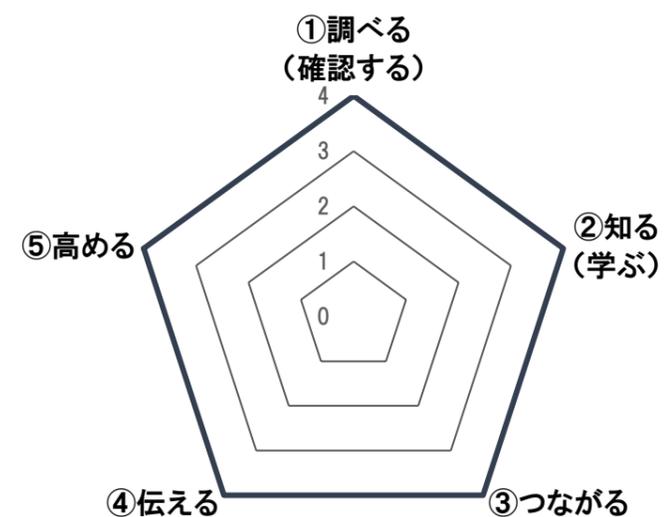
千歳町内会	中央町十字街町内会
緑ヶ丘町内会	中央町内会
南千歳町内会	中央東町内会
ニナルカ町内会	
常盤町内会	

実施率 44.4% ( 8 / 18 )

# 幌別西小学校区

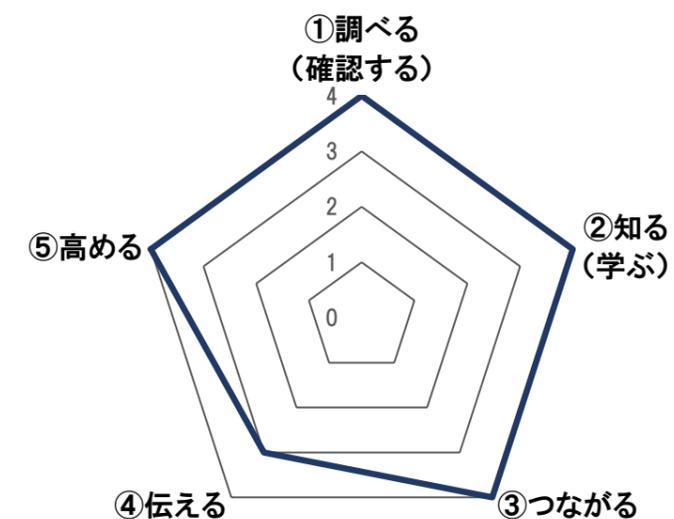
## 校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	きずな推進委員会等で、地域福祉について意見を共有し、他地域の理解を深め合ってきた。	4	継続して実施する。
②知る (学ぶ)	住民座談会は開催できなかったものの、勉強会や会議を通して学びや気づきを深めていった。	4	継続して実施する。
③つながる	町内会の各種行事において地域のきずなが深まってきている。	4	地域全域にきずな活動が広がるよう各地域に働きかける必要がある。
④伝える	各地域での行事等を通して、地域での人と人とのつながりの大切さを伝えてきた。	4	継続して実施する。
⑤高める	各種行事において、認識や理解を高めることが出来た。	4	今後も地域の小さな声を拾いながら継続して実施する。
関係者の様子・声	定期的な開催で地域の状況を確認し続けることができた		



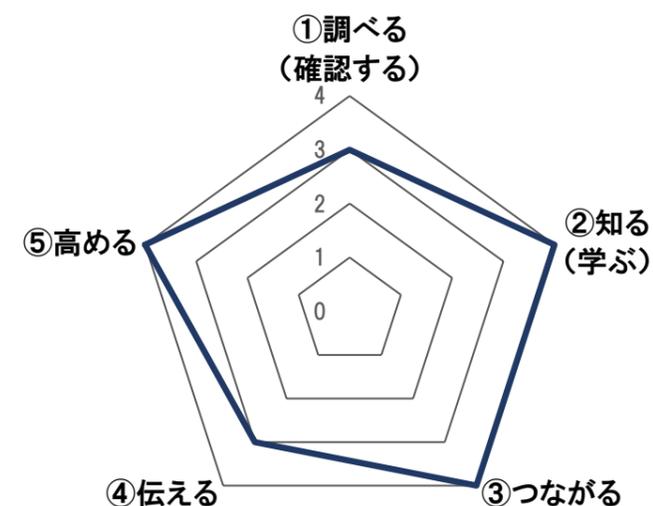
## 日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	全市割合からみても台帳の配付率は高く、その理解についても普及するよう努めている。	4	コロナ禍で行えない取り組みも多くあるが、できることを大切にしながら行っていく。
②知る (学ぶ)	会議や勉強会を通して、意見交換や取り組み状況について疎通を図ってきた。	4	継続して行う。
③つながる	地域差は否めないものの、周知活動を継続した。また、見守り時になにか変化があれば適宜関係者をつないでいる。	4	各地区、委員にも働きかけていく。
④伝える	H29の委員増加以降、本活動が各地区へ伝わる経路作りの取り組みを継続している。	3	継続して行う。
⑤高める	町内会や民生委員との繋がりを強め、連携強化を図っている。	4	電話やまごころレターなどを活用しながら取り組みをより進める。
関係者の様子・声	各町内会圏域での活動により、見守り活動の強化が行われている		



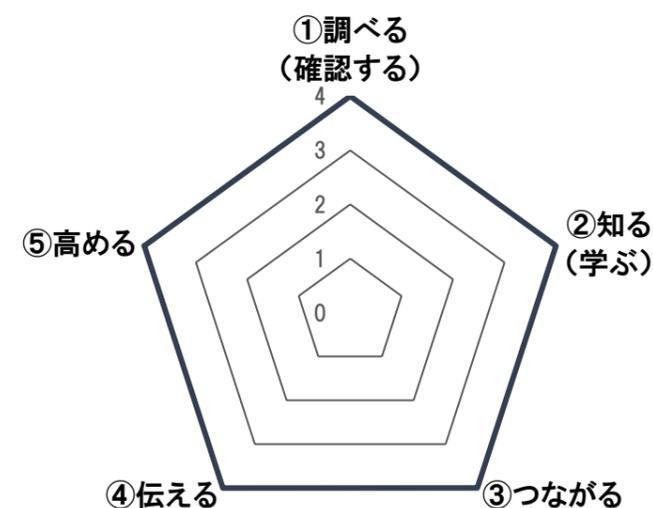
## 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロンの推進)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	既存のサロン活動や老人クラブ活動等は継続的に行われている。	3	継続して行う。
②知る (学ぶ)	サロン活動を通して、日頃関りの少ない方や独居高齢者等との接点を作ることは出来た。	4	継続して行う。
③つながる	民生委員や専門職の継続的な参加により、関わりとしての入り口や相談場所としても機能している。	4	継続的に専門職にも協力を働き掛ける。
④伝える	地域差はあるものの、日頃の福祉活動(きずな)が重要であり、普及も少しずつ行っている。	3	各者の活動が「きずな活動」でもあることを携わっている方々に理解を促していく。
⑤高める	支援者と利用者、双方にとって地域の居場所として機能している。	4	コロナ禍で活動をしないことが当たり前にならないようにできることを続けていく。
関係者の様子・声	サロンとしての実施は地域ごと開きがあるがそれぞれで必要と思われる取り組みは行われている		



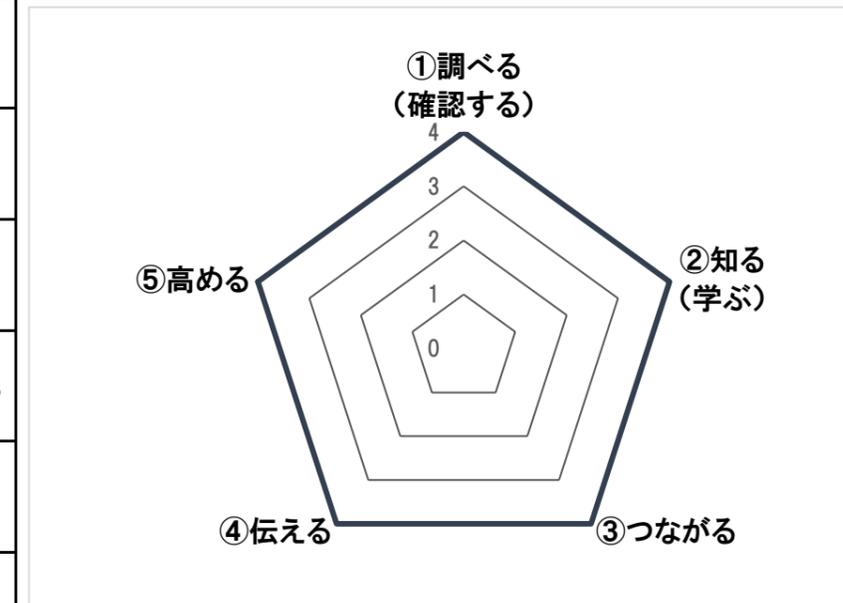
## 世代間交流(子育て支援、世代間交流活動の連携・情報共有)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	明日中等教育学校の生徒との意見交換を行い、若い世代の考えや町に対するイメージを確認し、刺激を受ける事ができた。	4	明日生徒も大事だが、幌別西小学校・西陵中学校の児童・生徒とも意見を交わす必要がある。
②知る (学ぶ)	明日中等教育学校の生徒との意見交換を通して、今後の登別に対する考えや発想を知ることが出来た。	4	互いが学び合う機会として今後も実施する。
③つながる	各町内会行事や意見交換会を行い、これまでに以上に各世代間との接点を持つことが出来た。	4	継続して行う。
④伝える	行事や意見交換会を通して、10代の若い世代に町のことや活動について誓いを促すことが出来た。	4	継続して行う。
⑤高める	世代間交流の場に参加したことで、各委員の意識や若い世代が考えることについても触れることが出来た。	4	継続して行う。
関係者の様子・声	子育てサロンは第3期期間中に終了したが、地域のみならず市内に果たした役割は大きい		



## 防犯・防災(避難訓練の実施や緊急時の連絡体制の整備)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	幌別西小学校・西陵中学校との協働により避難訓練を実施し、自宅からの避難行動について確認することができた。	4	学校協働の実施は隔年になるが、継続して実施する。
②知る (学ぶ)	子どもたちを交えた訓練を実施したことで、子どもたちの学びに寄与することができた。	4	様々な災害パターンを想定して研鑽を深めていく必要がある。
③つながる	訓練の実施を通じて、学校や生徒とのつながりを強める事ができた。また、避難の際に要支援者への支援を促すことで個々のつながりを築くことに寄与できた。	4	父兄も交えた意見交換の場の必要性を感じる。
④伝える	各種活動を通じて、日頃からの備えや動きを知ることの重要性を伝える事ができた。	4	小地域ネットワークなどとも連携しながら継続して行う。
⑤高める	訓練の実施や連絡体制の整備を進めたことで、地域内の防災意識向上や体制強化に寄与することができた。また、発電機を備える地域も増加した。	4	継続して行う。
関係者の様子・声	地域と学校がつながる取り組みの1つとして効果的であった		



## 校区きずな推進委員会 委員

リーダー	島田 幸一	きずな推進委員	伊藤 信一	きずな推進委員	小沢 裕美子
サブリーダー	村井 寿行	きずな推進委員	宮地 真治	きずな推進委員	内山 雅義
サブリーダー	石山 典子	きずな推進委員	鈴木 尚美	きずな推進委員	木村 俊子
きずな推進委員	三浦 忠夫	きずな推進委員	工藤 章造	きずな推進委員	細川 重雄
きずな推進委員	太田 通	きずな推進委員	川本 修	きずな推進委員	楠本 賢一

## 退任委員

きずな推進委員	岡田 敏治	きずな推進委員	中田 咲江
---------	-------	---------	-------

1. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

平成28年(第3期1年目)

柏木町内会	新川町内会
柏木団地町内会	香風町会
プレハブ町内会	望洋団地町内会
新和会	片倉町内会
山手町内会	西団地町内会

実施率 76.9% ( 10 / 13 )

令和2年(第3期5年目)

柏木町内会	新川町内会
柏木団地町内会	香風町会
プレハブ町内会	片倉町内会
新和会	西団地町内会
山手町内会	

実施率 75.0% ( 9 / 12 )

2. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

平成28年(第3期1年目)

サロン皆の衆
風と共に歩こう会
香風町会ふれあいサロン
ふれあいサロン
なのはな会

令和2年(第3期5年目)

サロン皆の衆
香風町会ふれあいサロン
ふれあいサロン

ふれあい会食会

平成28年(第3期1年目)

柏木町内会	望洋団地町内会
柏木団地町内会	片倉町内会
新和会	西団地町内会
新川第二町内会	
香風町会	

実施率 61.5% ( 8 / 13 )

令和1年(第3期4年目) ※令和2年は事業中止

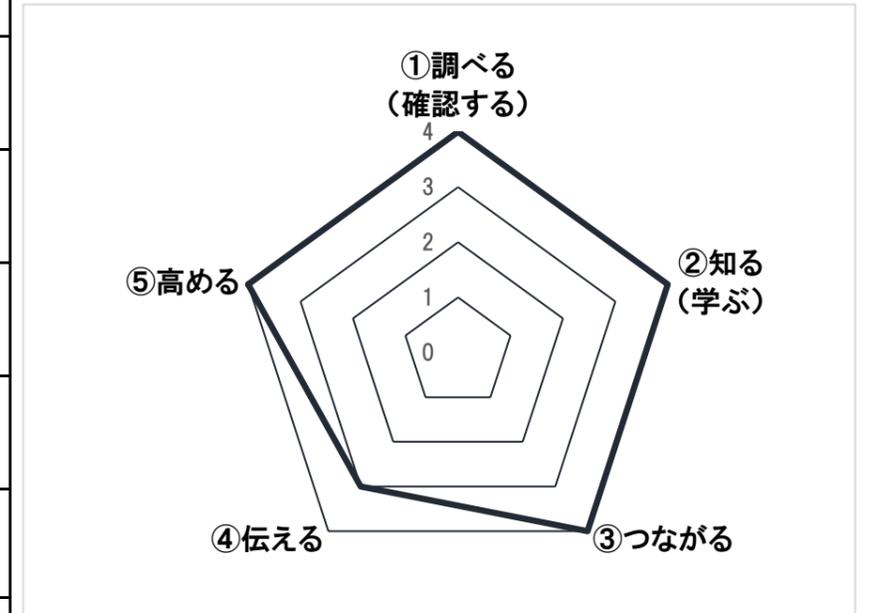
柏木町内会	片倉町内会
柏木団地町内会	西団地町内会
新和会	
新川第二町内会	
香風町会	

実施率 58.3% ( 7 / 12 )

# 青葉小学校区

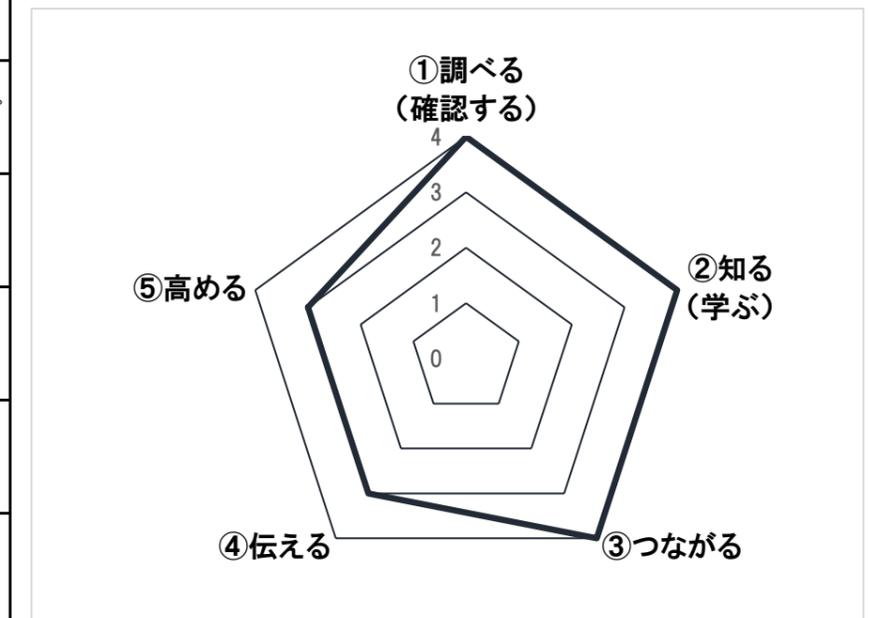
## 校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各町内会ごとの推進状況や取り組み等を把握しながら地域間の情報を実践活動に活かせたと考える。</li> <li>現在、小地域ネットワーク活動は10町内会が実施状況にある。実施率は90.9%(10/11町内会)</li> <li>校区推進委員会を定期開催して校区内の活動を共有できたと考える。更に、地区連役員会等で報告できている。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き実施が必要と考える。</li> </ul>
②知る (学ぶ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点項目の共有を図るため校区推進委員会を開催し、更に青葉地区連役員会で承認を得ながら取り組み周知を図った。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き実施が必要と考える。</li> </ul>
③つながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校区推進委員会は、地区連福祉部を兼ねた組織体制で行っているため、校区内の各町内会福祉部とつながっている。また、地区連役員会においてもきずな計画の進捗状況等を報告し、各町内会長に理解と協力を求めた。</li> <li>更に、「あいサポート運動」の研修会から、視覚障がいや身体障がいの人に対して気軽にサポートできる意識付けも行うことができた。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き実施が必要と考える。</li> <li>特に、あいサポート運動の各町内会への推進が必要。</li> </ul>
④伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区推進委員会や青葉地区連役員会を通してきずな計画(全市・校区)について進捗状況を報告し、校区内の町内会役員等にきずな計画を伝えることができたと考え、一般の地域の方々への普及・理解等をより図る反省がある。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き実施が必要と考える。</li> </ul>
⑤高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3期を終え、校区計画もかなり浸透してきたと考えるが、更に推進委員会や地区連役員会等を通じて情報共有することで、日々の福祉活動に対する意識を高める場として会議を行う役割は大きかったと考える。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き実施が必要と考える。</li> </ul>
関係者の様子・声	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も地区連と一体的に進めていくことで更なる推進体制を確立する必要がある。</li> </ul>		



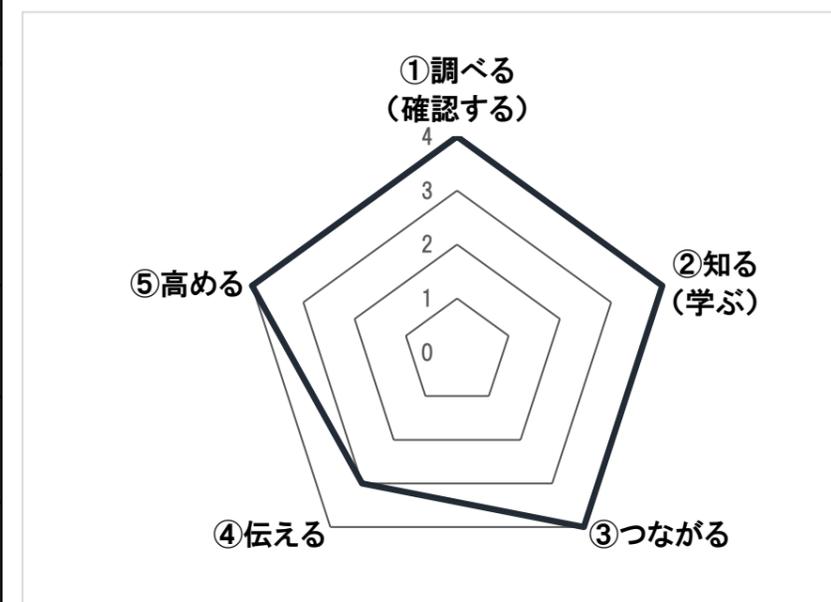
## 日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在11町内会中10町内会が実施。</li> <li>実施率は、校区内で90.9%である。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>小地域ネットワーク活動の実施町内会100%を目指す。更に、地区連の事業計画に織り込む。</li> <li>新たに、行政が行っている「高齢者などに対する緊急通報機器の貸与事業」の新方式の利用や活用状況を把握し、特に独居高齢者の見守りに活かせるか検討を要す。</li> </ul>
②知る (学ぶ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区推進委員会や地区連役員研修等で小地域ネットワーク活動について説明の場を設けることができた。また、「きずなシンポジウム」や「小地域ネットワーク研修会」等の社協開催の事業への参加による情報や体験談を聞き、他の校区の実情を知ることができた。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き実施が必要と考える。</li> </ul>
③つながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校区は、地区連福祉部が校区推進委員会と兼ねた組織運営をしており、現状把握や連携が図りやすい。中には、民生委員・児童委員を兼ねている委員もいる。</li> <li>その他の諸団体とのつながりも重視しながら、できるだけ共有してきた。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き実施が必要と考える。</li> </ul>
④伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>小地域ネットワーク活動でも特に「きずな安心キット」の普及までは取り組まれているが、そこからの展開がまだまだのようだ。特に世帯数の大きい町内会では、十分把握できなかった反省がある。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き実施が必要と考える。</li> </ul>
⑤高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ふれあい・いきいきサロン」「ふれあい会食会」等で説明を行い、小地域ネットワーク活動への理解を深める取り組みが図れたと考える。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>小地域ネットワーク活動の100%導入を促す取り組みを図る。</li> <li>引き続き、ふれあい・いきいきサロンやふれあい会食会などで理解を図っていく。</li> </ul>
関係者の様子・声	<ul style="list-style-type: none"> <li>配布後のフォローアップやきずなづくり台帳一覧を活用した取り組みに派生していくことが必要。</li> </ul>		



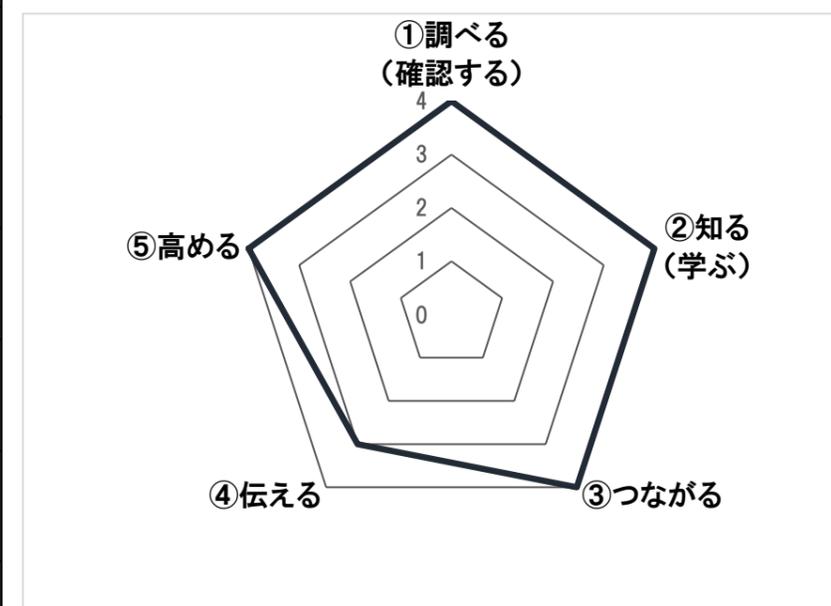
## 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会の推進)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	・既存のサロン活動は定期的に行われてきたが、活動の団体が固定している現状になっている。 ・実施状況: サロン活動7団体(1未登録)、ふれあい会食会8町内会(1未登録)	4	・引き続き実施が必要と考える。
②知る (学ぶ)	・サロン活動や会食会等を通して、高齢者等との関わりができたと考え。 ・サロンサポーター連絡会に参加し、知識の醸成と情報交換によってサロン活動の活性化に活かされたと考え。	4	・引き続き実施が必要と考える。
③つながる	・サロンサポーター連絡会等で他地区との情報交換を通し、市内のサロンサポーターや関係機関とつながりができたことが大きかった。	4	・引き続き実施が必要と考える。
④伝える	・サロン活動や会食会等で「きずな」について話す機会を設け、参加者には浸透してきているものと考え。 ・サロンや会食会等を広報に掲載し活動状況を周知する方法は、今後も活用できるものである。	3	・引き続き実施が必要と考える。
⑤高める	・サロンは地域の居場所として機能している。また、会食会を開催することで地域の見守りやつながりができるものである。 ・内容に工夫を凝らしながら参加者への意識を高めている。	4	・引き続き実施が必要と考える。
関係者の様子・声	・コロナ禍で実施できない状況が続いているが、再開を待ち望んでいる声も多い。		



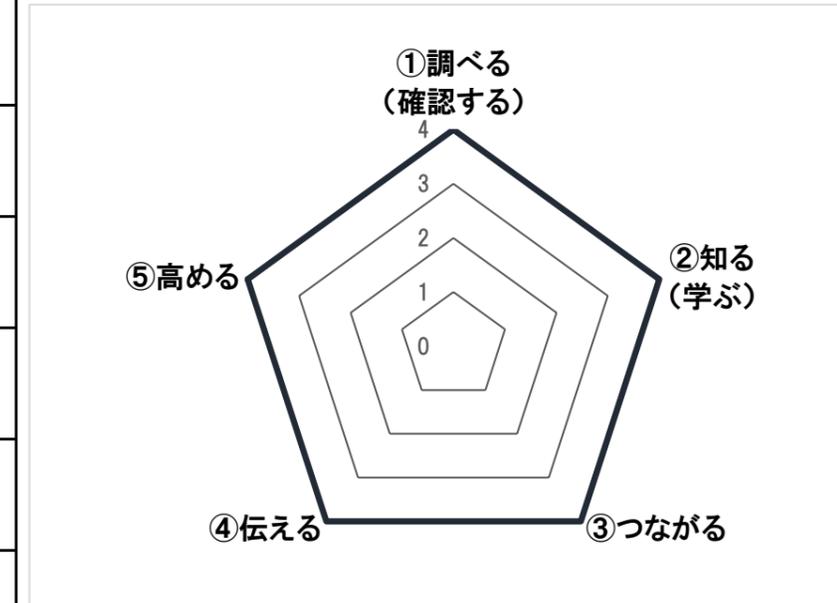
## 子育て及び高齢者福祉対策の推進

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	・子ども見守り活動として登下校時の声掛けや交通安全・防犯に対する啓発を中心に実施することができた。また、青パト車との連携も図りながら大きな活動の成果となった。	4	・引き続き実施が必要と考える。
②知る (学ぶ)	・三地区育成会を通して、不審者情報や交通安全に関する情報を入手でき、更に防犯活動にも運動させることができた。	4	・引き続き実施が必要と考える。
③つながる	・三地区育成会(青葉小、富岸小、緑中)と連携を図りながら行った。また、その他団体として「あおば元気な会」「おやじの会」「子ども見守り隊」などつながりのある活動になったと考える。 ・各町内会ごとに行う老人クラブとの関わりは、安否確認や健康情報の共有などを行ってきた。	4	・引き続き実施が必要と考える。
④伝える	・活動そのものが「きずな」の実践として定着している。 ・活動する上で中学校区の「三地区育成会」「学校運営協議会」等と連携し、情報共有しながら活動できていると考える。	3	・引き続き実施が必要と考える。
⑤高める	・見守りパトロールや交通安全街頭啓発は、多くの元気な高齢者の協力により、防犯はもちろんのこと、児童や地域住民への見守りにもつながっていると考える。	4	・引き続き実施が必要と考える。
関係者の様子・声	・下校時の見守り活動は、多世代が交流するきっかけになっている。		



## 防犯・防災対策で安心安全な生活環境づくり

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	・第3期は三地区育成会との合同津波避難訓練が実施でき、学校側との共通認識が醸成できたことが大きな成果となった。更に、児童や中学生も交えて子ども達の自宅からの避難行動は効果が大きかった。 ・一般参加者の参加を増やす努力が必要と考える。	4	・引き続き実施が必要と考える。
②知る (学ぶ)	・地区連に独自の「自主防災連絡協議会」があり、会議の中で情報を共有できたと考え。特に、合同避難訓練の実施要領を綿密に図ることができた。 ・市から非常用発電機の貸与があり、管理も含め活用の応用を図る必要がある。	4	・引き続き実施が必要と考える。
③つながる	・主体的には「自主防災連絡協議会」を持って、各町内会との連携を図ることとしており、十分につながることができた。また、市連合町内会の「緊急災害時情報伝達網」により各町内会とつながりが図れた。 ・胆振東部地震でのブラックアウト発生から、避難訓練等で非常用電源を取り扱う研修会も必要であると考え。	4	・引き続き実施が必要と考える。
④伝える	・「自主防災連絡協議会」において、各町内会長・防災協力員に第3期きずな計画を確認したことで、日常における地域意識の高揚を図ることができた。	4	・引き続き実施が必要と考える。
⑤高める	・防災避難訓練で統一的な訓練を実施できたことは成果とできる。更に展開できるものとする。	4	・引き続き実施が必要と考える。
関係者の様子・声	・日頃から備えておくことで、緊急時の迅速な対応が可能となることは、これまでの教訓で明らかである。		



## 校区きずな推進委員会 委員

リーダー	田淵 純勝	きずな推進委員	堀尾 政江	校区きずな推進委員	池上 英彦	校区きずな推進委員	大西 拓哉
サブリーダー	桑井 孝子	校区きずな推進委員	宇佐美 裕彰	校区きずな推進委員	垣内 博		
サブリーダー	津川 正博	校区きずな推進委員	中山 和恵	校区きずな推進委員	内田 陽子		
きずな推進委員	吉田 伸吾	校区きずな推進委員	津村 進	校区きずな推進委員	坂本 大樹		

## 退任委員

きずな推進委員	近藤トシ子	校区きずな推進委員	川村 憲子	校区きずな推進委員	遠藤 正一
きずな推進委員	亀山 聖	校区きずな推進委員	楡井 政治	校区きずな推進委員	小笠原 茂雄
校区きずな推進委員	北原 勲				

## 1. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

平成28年(第3期1年目)

来福町内会	あかしや町内会
西川上町内会	市営住宅桜木自治会
新登津町内会	
緑町団地町内会	
若緑町内会	

実施率 63.6% ( 7 / 11 )

令和2年(第3期5年目)

来福町内会	青葉町青嶺高町内会
さくら団地自治会	若緑町内会
西川上町内会	あかしや町内会
新登津町内会	若山団地町内会
緑町団地町内会	市営住宅桜木自治会

実施率 90.9% ( 10 / 11 )

## 2. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあいいきいきサロン

平成28年(第3期1年目)

いきいきサロン桜木	若山団地サロン
いきいき・ふれあいサロン「アソイワ」	
カラオケクラブ「シロクマ会」	
いきいきサロン結	
わかやまサロン	

令和2年(第3期5年目)

サロンさくら会	若山団地サロン
いきいきサロン桜木	
カラオケクラブ「シロクマ会」	
いきいきサロン結	
わかやまサロン	

ふれあい会食会

平成28年(第3期1年目)

桜木団地町内会
西川上町内会
新登津町内会
若緑町内会
あかしや町内会

実施率 45.5% ( 5 / 11 )

令和1年(第3期4年目) ※令和2年は事業中止

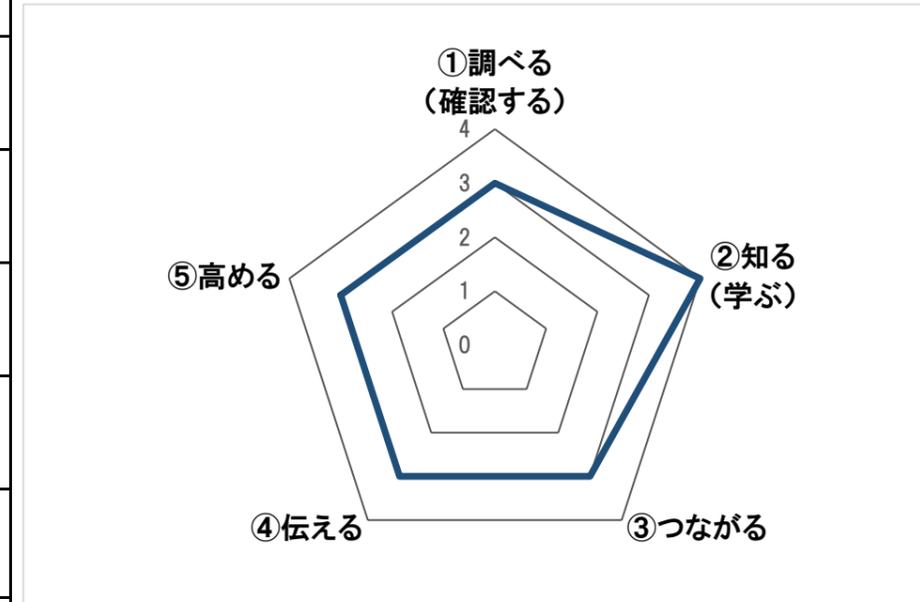
来福町内会	あかしや町内会
桜木団地町内会	市営住宅桜木自治会
西川上町内会	
新登津町内会	
若緑町内会	

実施率 63.6% ( 7 / 11 )

# 富岸小学校区

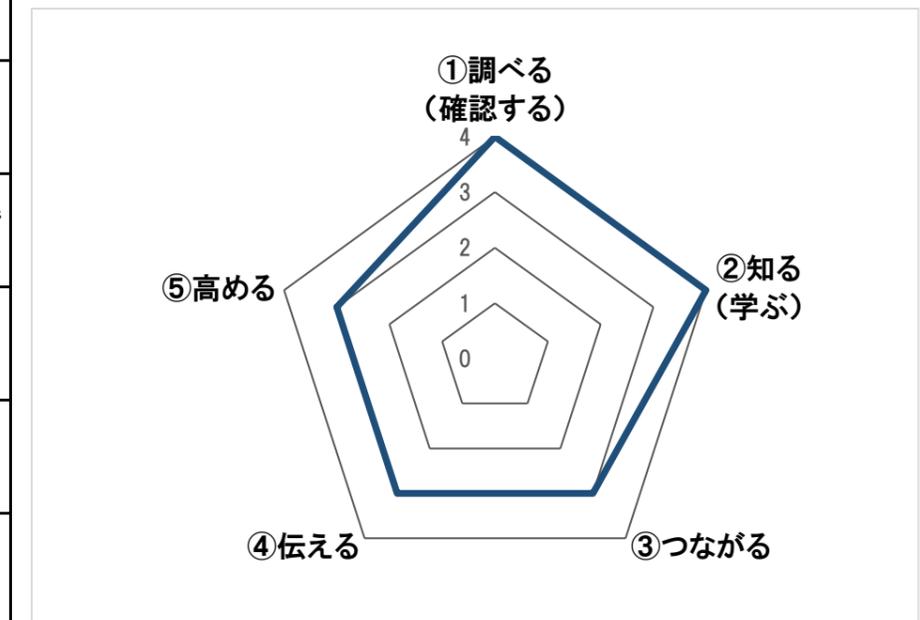
## 校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	きずな推進委員会、住民座談会ともに開催できないまま、地域のニーズを把握できないまま経過してしまった。	3	早めに、住民のニーズの変化を把握するようにしたい。
②知る (学ぶ)	意見や要望を聞くだけでなく、研修の手法を確立する方向で、慣習買いも取り入れたい。	4	社協の担当者と相談しながら、市全域に採用していきたい。
③つながる	一部の町内会の関りだけではなく、個々のすべての町内会と接したい。	3	継続的に推進できるシステムを確立したい。
④伝える	各々の町内会の関りの中から、個別にニーズを把握したい。	3	年に2回程度は実施することを目標にしたい。
⑤高める	ニーズの具体的対応を大切にしたい。	3	焦らず、急がず、確実にすることで自然体でいくことにしたい。
関係者の様子・声	きずな推進会議で確認していくことが必要。		



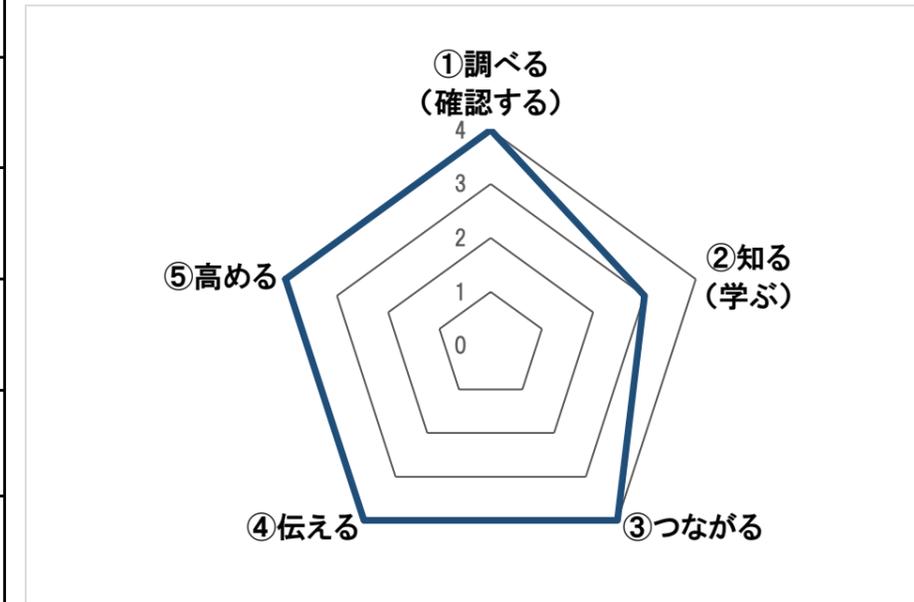
## 日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	小地域ネットワークをはじめ、災害対応の声掛け等防災計画の推進を重点的に行う。	4	自主的に自分たちにあった方法を研究する。
②知る (学ぶ)	住民座談会にて、各地域の現状把握を行う。	4	自主的に自分の地域にあった方法を考え、他の地域の方法を参考にする。
③つながる	地域間のレベル差を認識し、お互いに頼り合う関係をつくる。	3	継続的に推進できるシステムを確立したい。
④伝える	防災計画の改善情報を地区間で連絡し合う。	3	継続的に推進できるシステムを確立したい。
⑤高める	防災訓練等でお互いの参加を促し、参考にする。	3	継続的に推進できるシステムを確立したい。
関係者の様子・声	きずな推進会議で確認していくことが必要。		



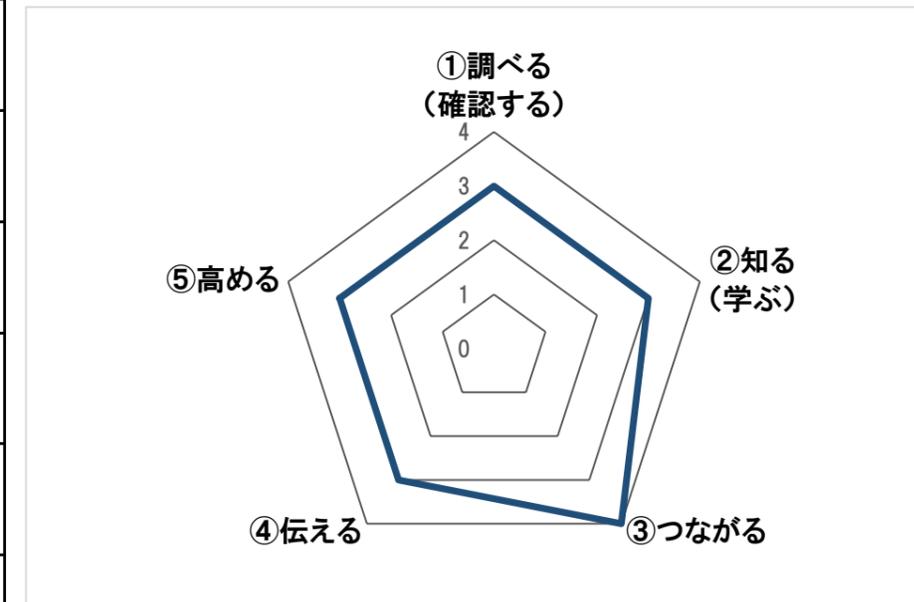
## 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	各地域共に、ふれあい・いきいきサロンなどサロン活動は安定している。	4	継続的に安定的に活動できる方策を検討する。
②知る (学ぶ)	各研修会や講演会への自主的な参加をより進める必要がある。	3	広報だけの周知ではなく、町会運営の中に積極的に取り込んでもらうようにする。
③つながる	町内会行事や老人クラブの行事には自主的に参加しているようである。	4	町内会や老人クラブ等との整合性を図る。
④伝える	市や社協の福祉活動の宣伝をもっと宣伝する場を多くすることも大切と思われる。	4	広報だけの周知ではなく、町会運営の中に積極的に取り込んでもらうようにする。
⑤高める	居場所づくりや活動場所は公的施設だけでは不十分である。	4	空家対策等に絡めて、町会で維持管理の支援する方法も検討すべきと思われる。
関係者の様子・声	きずな推進会議や住民座談会で意見交換をし、確認していくことが必要。		



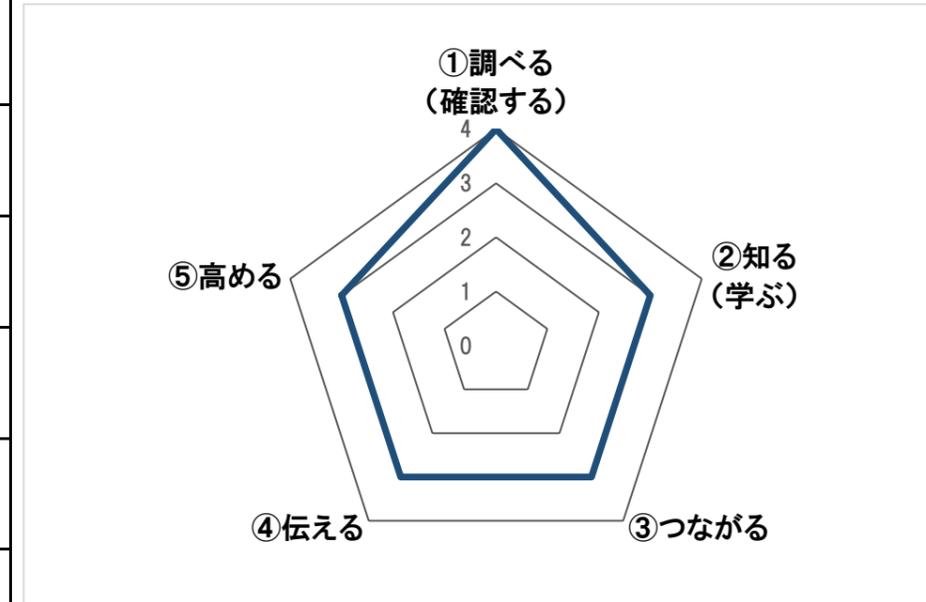
## 防災計画(防災計画の策定、避難訓練の実施)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	各地区の関心は高いものの、地域差を感じる。命を守ることの対応策にレベル差が出ないようにする必要がある。	3	各地区毎に自主防災計画書を作成する。
②知る (学ぶ)	地域性があることから、自身に合った自主防災を考える必要がある。	3	他地域の防災計画書を熟読し、自分たちに合った防災計画書を作成する。
③つながる	地域との連携を日頃から作る必要がある。	4	地域との連携方法を話し合う。
④伝える	地域との連携を日頃から作る必要がある。	3	地域との連携方法を話し合う。
⑤高める	地域との連携を日頃から作る必要がある。	3	地域との連携方法を話し合う。
関係者の様子・声	きずな推進会議で確認していくことが必要。		



## きずな安心キットの推進

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	安心キット普及率を高める運用方法を確立する検討が必要である。	4	初期導入から見直されている地域が少ないので、日常の管理方法を明確にしていく必要があると思われる。
②知る (学ぶ)	活動事例をフォローし、有効性を宣伝する。	3	福祉活動の勉強会に取り入れる。
③つながる	活動事例を説明し、意義の理解と参加を求める活動を行う。	3	福祉活動の勉強会に取り入れる。
④伝える	市や社協、地域包括支援センターの広報を活用する。	3	行政とも連携した体制づくりが必要と思われる。
⑤高める	活動方法をより具現化していく必要がある。	3	行政とも連携した体制づくりが必要と思われる。
関係者の様子・声	きずな推進会議で確認していくことが必要。		



## 校区きずな推進委員会 委員

リーダー	瀧川 正義	きずな推進委員	八重樫一男
サブリーダー	袖山 功	きずな推進委員	亀山 秀一
サブリーダー	工藤 保秋	きずな推進委員	山道 春秋
きずな推進委員	筑野 栄子	きずな推進委員	有野 國男

## 退任委員

きずな推進委員	合田 和彦	きずな推進委員	中山 晃一	きずな推進委員	小林 良郷
校区きずな推進委員	田中恵美子	校区きずな推進委員	菊地 由三		

1. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

平成28年(第3期1年目)

若葉町内会	新生北町内会
富岸町内会	新生町三丁目町会
富浜町内会	新生町望洋町内会
新生町内会	
新生町2丁目町会	

実施率 72.7% ( 8 / 11 )

令和2年(第3期5年目)

若葉町内会	新生町2丁目町会
富岸町内会	新生北町内会
富浜町内会	新生町三丁目町会
新生町内会	新生町望洋町内会
新生団地町内会	

実施率 81.8% ( 9 / 11 )

2. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

平成28年(第3期1年目)

スマイルサロンドリーム	新生町2丁目町会いきいきサロン
寿サロン	健康サロン・レインボー
いきいきサロン若葉	元気サロン虹の会
サロン「スマイル」	新生きらきらサロン
ふれあい会	

令和2年(第3期5年目)

寿サロン	健康サロン・レインボー
いきいきサロン若葉	元気サロン虹の会
サロン「スマイル」	新生きらきらサロン
新生町2丁目町会いきいきサロン	ふれあい会

ふれあい会食会

平成28年(第3期1年目)

若葉町内会	新生北町内会
富岸町内会	新生町三丁目町会
富浜町内会	新生町望洋町内会
新生町内会	
新生町2丁目内会	

実施率 72.7% ( 8 / 11 )

令和1年(第3期4年目) ※令和2年は事業中止

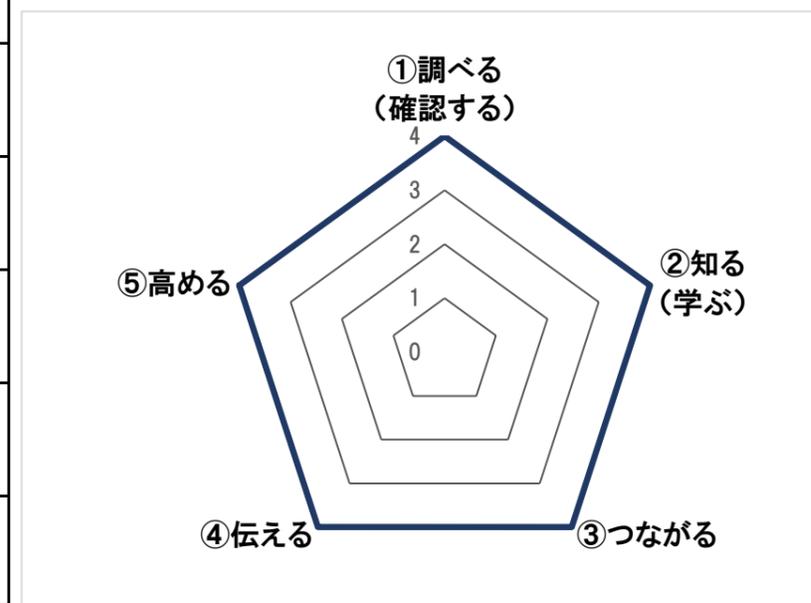
汐平町内会	新生町2丁目町会
若葉町内会	新生北町内会
富岸町内会	新生町三丁目町会
富浜町内会	新生町望洋町内会
新生町内会	

実施率 81.8% ( 9 / 11 )

# 若草小学校区

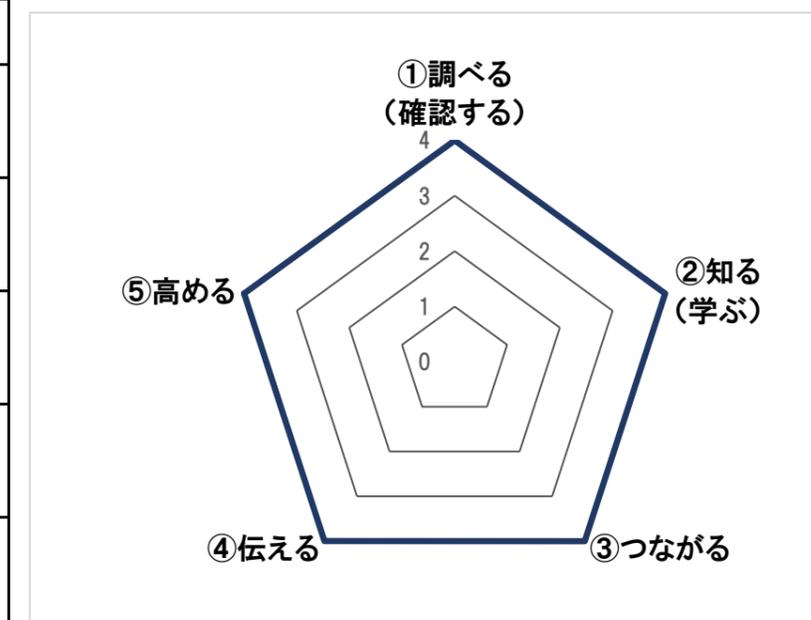
## 校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	校区のきずな推進委員会等での意見交換を通して地域の状況を確認することができた。 また、下校指導等の地域での活動の中で校区の状況を確認した。	4	継続して実施する。
②知る (学ぶ)	コロナ禍においても校区内で継続的に活動していけるよう「福祉活動アイデア帳」等での活動事例を参考に、感染症対策を講じた活動について学んだ。	4	継続して実施する。
③つながる	校区のきずな活動を推進するにあたり、引き続き学校関係者、福祉施設職員等幅広い関係者とのつながりを維持することができている。併せて、長年実施している下校指導・見守りを通じた小中学生との繋がりが出来ている。	4	これまでの繋がりを維持しつつ、様々な行事や活動を通して新たな繋がりもつくっていききたい。
④伝える	各種活動において、きずなの必要性を伝えることが出来た。	3	きずなの概要だけではなく、本質を対外的にどう発信するか検討し実施する。
⑤高める	kizuna&を通して、校区内外の取り組みについて共有することで、校区の意識を高めることに寄与している。	4	継続して実施する。
関係者の様子・声	福祉活動アイデア帳やkizuna&は、コロナ禍での活動を行う上での一つの指針になっている。		



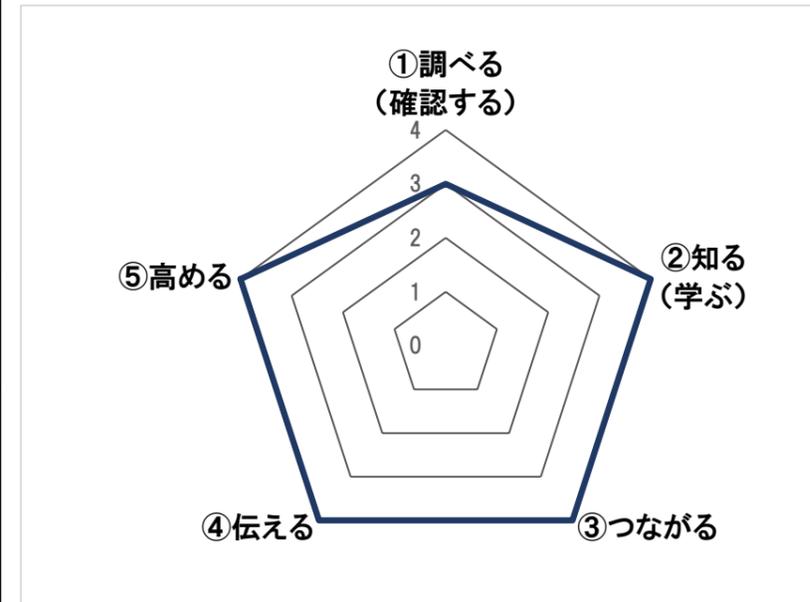
## 日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	きずな安心キットの配付等をきっかけに地域の状況を確認することができている。 また、コロナ禍でも感染症対策をしながら見守りを行っている。	4	継続して実施する。
②知る (学ぶ)	感染対策方法や地域の感染状況等についても共有しながら活動を継続して行った。	4	継続して実施する。
③つながる	まごころレター等を通して、これまで以上に地域との繋がりを持つことができた	4	継続して実施する。
④伝える	活動において、日頃からつながりを持つことの大切さなどを伝えながら取り組むことができている。	4	継続して実施する。
⑤高める	地域の自助・互助力を高めることにつながっている。	4	継続して実施する。
関係者の様子・声	きずな安心キットやまごころレターをキッカケに見守り活動の輪が広がっている。		



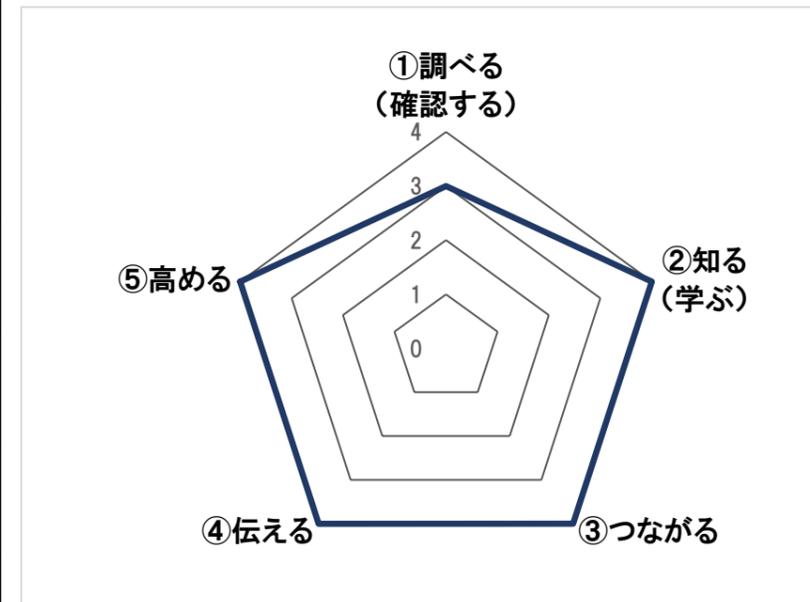
## 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会の推進)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	サロンを実施することで安否確認や地域の状況を確認する機会となっている。コロナ禍により、サロンを開催できない地域でも参加者と定期的に連絡を取る他、まごころレターの配布を通して近況の共有などが行われている。	3	コロナ禍でもサロンや会食会を安全に実施できるよう感染対策を徹底した様々な形を検討して活動していきたい。(会食会の場合だと例えば集合型ではなくお弁当の配布等)
②知る (学ぶ)	コロナ禍により、地域ごとで感染症対策について学び、コロナ禍でもできるサロン運営について考える機会となっている。	4	サロンのような住民同士が繋がりを持てる活動を安心して実施していけるように感染予防や対策方法等も継続して学びながらできることについて考えていきたい。
③つながる	参加者や役員、専門職等がつながる機会となっている。	4	サロンに参加されていた方々との繋がりを絶やさないようできることを考えながら活動していきたい。
④伝える	きずなのPR等を行い、伝える事ができている。	4	継続して実施する。
⑤高める	都度参加者や関わる人たちの意見を聞きながら、より良いものとなるように工夫を凝らしている。また、コロナ禍でもモチベーションを保ちつつ、これからの活動について前向きに考えることが出来ている。	4	継続して実施する。
関係者の様子・声	コロナ禍でサロンや会食会を思うように実施できないときもまごころレター等の媒体を通して感染リスクを抑えた形で実施することができた。		



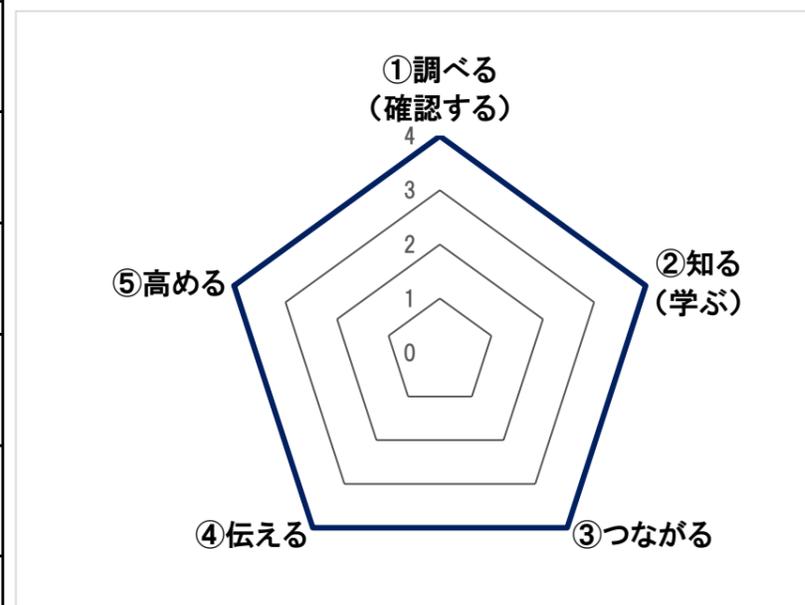
## 防災活動(普及啓発、要支援者への避難訓練参加促進と避難ルートの周知等)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	訓練の実施により、避難ルートや状況等を確認することが出来ている。	3	地域によっては、避難ルートや避難場所の見直しが必要な場所もあるため、住民や関係機関など見直し・検討していきたい。
②知る (学ぶ)	訓練の実施は、地域住民にとっても良い学びの機会になっている。日頃の見守り活動や住民同士の関わりの中で、要支援者などとの関わりを普段から取るようにしている。	4	普段避難訓練に参加している人を始め、要支援者の方などからの意見を踏まえてお互いが学び合いながら避難する際に必要なことを共有していきたい。
③つながる	北海道胆振東部地震時においては、日頃のつながりを活かした迅速な対応を取ることができていたので、継続して住民同士のつながりを意識してしている。	4	これまでの繋がりを絶やさないう、日頃から行っている様々な地域での活動などを通して、これからも繋がっていききたい。
④伝える	日頃からの備えの大切さを普段のつながりの中で伝えている。	4	継続して実施する。
⑤高める	繰り返し訓練を行ったことで、迅速な避難ができるようになっている。	4	継続して実施する。
関係者の様子・声	防災や避難訓練等をテーマに住民同士の繋がりの大切さを共有する機会となっている。		



## 高齢者支援(軽微な生活支援の提供体制の構築)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	ゴミ出し等比較的軽微な支援は、感染対策を行いご近所付き合いの範疇で気にかけるながら実施されている。	4	今後も感染対策をしつつ無理のない範疇で気にかけるながら困り事など無いか状況を確認していきたい。
②知る (学ぶ)	日頃の活動から校区内の課題を把握・共有することができた。	4	継続して実施する。
③つながる	鍵預かりサービス事業の実施により、福祉施設とつながることができている。 また、コロナ禍で孤立してしまう高齢者が出ないよう意識して繋がり続けている。	4	今後も様々なつながりの中で日頃の生活の困り事が無いかアンテナを張っていきたい。
④伝える	日頃の活動を通じて、軽微な支援の必要性などについて伝えている。	4	継続して実施する。
⑤高める	鍵預かりサービス事業の実施により、校区の安心感を高めている。	4	継続して実施する。
関係者の様子・声	コロナ禍で顔を合わせる機会が減る中、ゴミ出し等を声がけすることで対象者と繋がりがられている。		



## 校区きずな推進委員会 委員

リーダー	南 行雄	きずな推進委員	境 幸子	きずな推進委員	名波 俊昭
サブリーダー	伊藤 秀男	きずな推進委員	星 康彦	校区きずな推進委員	伊藤 修二
サブリーダー	松川 陽子	きずな推進委員	植田 正子	校区きずな推進委員	西村 孝夫
きずな推進委員	高橋 正子	きずな推進委員	関 國男		
きずな推進委員	西村 美代子	きずな推進委員	中島 康晴		

## 退任委員

きずな推進委員	伊藤 秀男	校区きずな推進委員	長内 正二	きずな推進委員	森田 只志
きずな推進委員	堀川 千恵子	校区きずな推進委員	相馬 眷三		

1. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

平成28年(第3期1年目)

若草町内会	桜ヶ丘町会
若草第二町内会	
美園南町内会	
旭ヶ丘町内会	
美園町会	

実施率 85.7% ( 6 / 7 )

令和2年(第3期5年目)

若草町内会	桜ヶ丘町会
若草第二町内会	
美園南町内会	
旭ヶ丘町内会	
美園町会	

実施率 85.7% ( 6 / 7 )

2. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあいいきいきサロン

平成28年(第3期1年目)

若草町いきいきサロン	みんなできいき
いきいきサロンM・K・P	
なかよしサロン	
いちにのさん	
美園町会いきいきサロン	

令和2年(第3期5年目)

若草町いきいきサロン	ちよこつと茶屋の会
なかよしサロン	
いちにのさん	
美園町会いきいきサロン	
みんなできいき	

ふれあい会食会

平成28年(第3期1年目)

若草町内会	美不二町会
若草第二町内会	桜ヶ丘町会
美園南町内会	
旭ヶ丘町内会	
美園町会	

実施率 100.0% ( 7 / 7 )

令和1年(第3期4年目) ※令和2年は事業中止

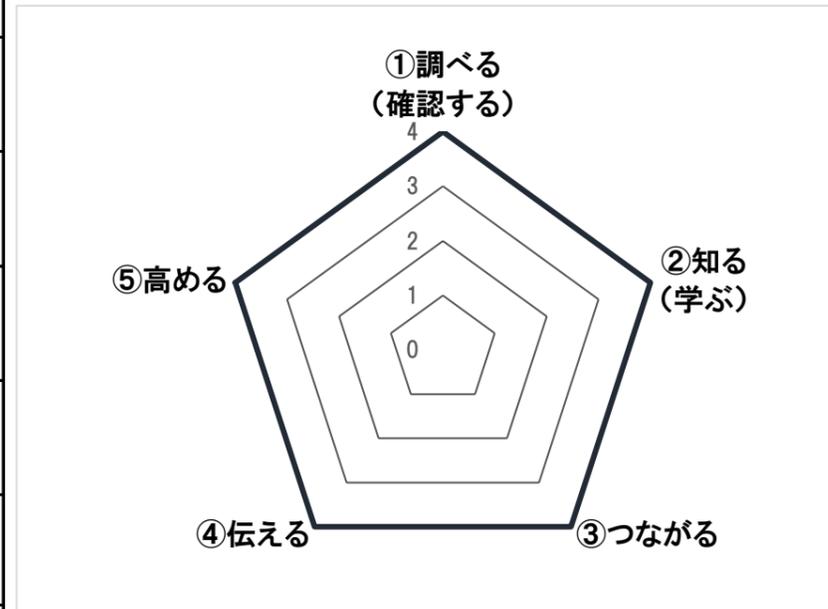
若草町内会	美不二町会
若草第二町内会	
美園南町内会	
旭ヶ丘町内会	
美園町会	

実施率 85.7% ( 6 / 7 )

# 鷺別小学校区

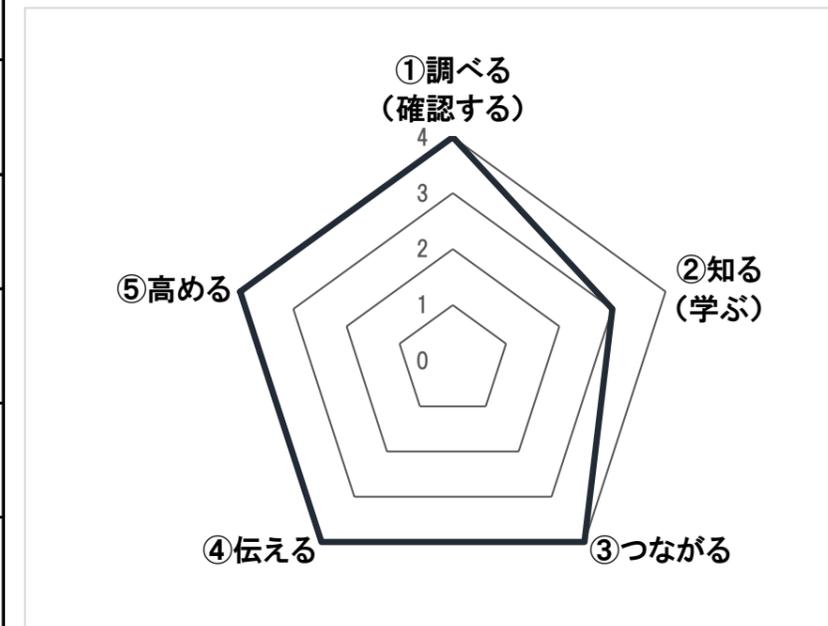
### 校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	校区きずな推進委員会を定期的に開催し、参加委員で地域の実情と課題を確認し合うことができた。	4	今後も地域の実情を確認し合いながら、課題解決を目指し検討を進めていく。
②知る (学ぶ)	住民座談会の場ではきずな推進委員以外の住民とも意見を交わし、学び合うことができた。	4	住民座談会で広く住民と学び合う機会を大切にしていく。
③つながる	地域包括支援センターや市役所職員とも校区委員会の場で話し合うことができた。	4	校区内の関係者と連携を図りながら、今後も協議を進めていく。
④伝える	住民座談会では、今の地域課題についてきずな活動の実情を伝えることができた。	4	今後も広く校区の住民に地域の実情やきずなの取り組みを伝えていくことを目指す。
⑤高める	校区委員会、住民座談会の場で買い物支援をはじめとする生活支援事業の実施に向け機運を高めることができた。	4	モデル事業実施に向け今後も協議を進めていく。
関係者の様子・声	毎回校区委員会への出席率は高く、熱心な話し合いを行うことができた。		



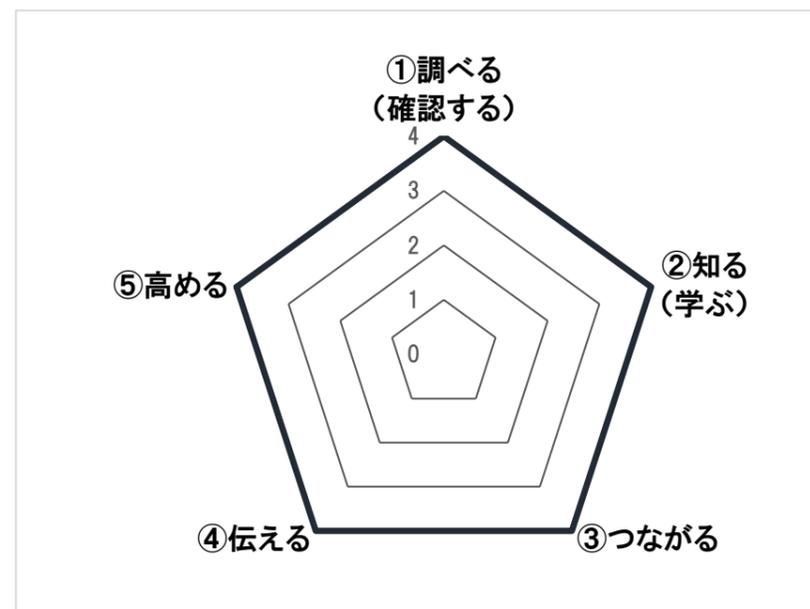
### 日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	小地域ネットワーク活動を校区内全町内会で推進し、鍵預かりサービス事業を実施することができた。	4	地域の実情に応じ活用できるよう今後も展開していく。
②知る (学ぶ)	日頃からの見守り活動の実践と充足を通し学び合うことができた。	3	今後も地域の見守り活動の必要性を学び合いながら、充足を目指していく。
③つながる	地域での見守り活動や小地域ネットワーク活動、鍵預かりサービス事業の充足を通し地域につながりを生むことができた。	4	今後も地域の見守り活動の必要性を学び合いながら、充足を目指していく。
④伝える	住民座談会等の場面で小地域ネットワーク活動をはじめとする見守り体制の必要性を伝えることができた。	4	住民と広く学び合う機会を設けながら、充足を図っていく。
⑤高める	地域の見守り体制の充実を図り、安心とつながりづくりに寄与することができた。	4	今後も充足を目指していく。
関係者の様子・声	コロナ禍では各町内会の独自の見守り活動や、「まごころレター」の配布といった間接的なつながり維持の活動も広がりを見せた。		



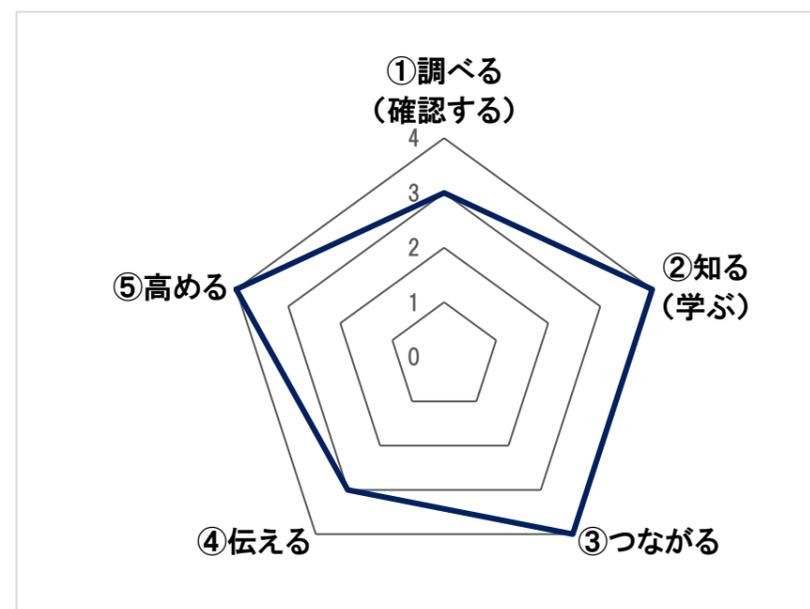
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい・子育てサロン、ふれあい会食会の推進)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	安定したサロン活動が実施されている。会食会は校区内全町内会で行われ、住民の交流と実情把握の機会となっている。	4	交流の機会の活用や支援を継続し、住民同士の交流を図っていく。
②知る (学ぶ)	サロン運営者の研修会等の実施を通し学びを深める機会を設け、より良い活動の展開を図ることができた。	4	今後も学び合える機会を設けながら、地域の居場所づくりを推進していく。
③つながる	サロンや会食会への参加を通し地域の中に人と人とのつながりが生まれるきっかけとなった。	4	関係機関とも連携を図りながら、今後もつながりづくりを充足させていく。
④伝える	人とのつながりを生むことや居場所の必要性を地域の中で共有していくことができた。	4	今後も広く住民に活動の意義や活用できるよう情報を発信していく。
⑤高める	多くの活動者がサロンや会食会の意図を理解し、学び高め合うことができています。	4	今後も活動を継続しながら、より良いものとなるよう充足させていく。
関係者の様子・声	コロナ禍では改めて地域のつながりや居場所の必要性が感じられ、各サロン等で工夫を凝らす様子があった。		



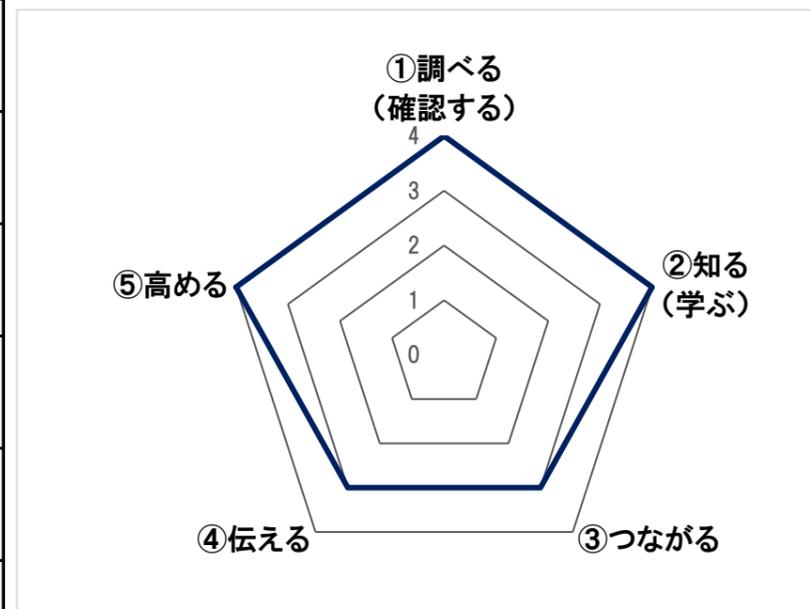
気軽に立ち寄れる地域の拠点づくり(しゃべっ茶お)

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	地域の誰でも参加できる居場所として活動を継続することができた。	3	高齢者だけでなくより開けた住民の居場所を目指し活動を継続していく。
②知る (学ぶ)	運営スタッフで定期的な打ち合わせを持ち、拠点の方向性や必要性について理解を深めた。	4	今後も都度の打ち合わせや方向性の共有を図りながら進めていく。
③つながる	地域包括支援センター、民生委員・児童委員、町内会役員、鷺別小学校とも連携し実施することができた。	4	今後も関係機関と連携しながら、より良い活動を目指していく。
④伝える	校区委員会や住民座談会の機会等で活動を伝えているが、より広く住民に周知していく必要がある。	3	今後も住民や関係機関へ地道な周知を続けていく。
⑤高める	活動の意義や目的等を運営スタッフで確認し合いながら、都度前向きな協議を持つことができた。	4	今後も目指すべき拠点の在り方や活動内容を協議しながら、より良い活動を目指していく。
関係者の様子・声	サロンのない地区の住民にとっては貴重な居場所であるとの声が聞かれ、スタッフも継続して活動に携わっている。		



## 住民主体の買い物支援サービスの展開

評価指標	内容	点数	第4期に向けて
①調べる (確認する)	校区委員会の中で、地域の実情や目指すべき事業の方向性について、熱心な話し合いを持つことができた。	4	地域の実情も踏まえ、今後もモデル事業の実施に向け検討を図っていく。
②知る (学ぶ)	校区委員会や住民座談会の場で、地域高齢者が抱える課題を学び合いながらモデル事業検討を進めることができた。	4	今後も地域の課題を広く住民と学び合いながら検討を目指す。
③つながる	地域包括支援センターと連携し事業の協議を進められたが、より校区内の機関や専門職と連携を図っていく必要がある。	3	モデル事業実施に向け、今後ますますの関係性構築を進めていく。
④伝える	モデル事業実施に向け、今後ますます校区内の住民に広く事業の必要性を伝え、課題を共有していく必要がある。	3	広く住民に事業の必要性や方向性を周知しながら、協力の輪を広げていくことを目指す。
⑤高める	校区委員会での意見交換では、モデル事業実施に向け機運を高めることができた。	4	今後も協議を重ねながら、より良い事業実施を目指す。
関係者の様子・声	校区委員会では関係機関も交えながら、校区全体の課題として買い物支援について前向きな検討が行えた。		



## 校区きずな推進委員会 委員

リーダー	中原 義勝	きずな推進委員	村井 美保子	校区きずな推進委員	廣瀬 淑子
サブリーダー	稲葉 雅幸	きずな推進委員	鈴木 信義	校区きずな推進委員	柏木 修吉
サブリーダー	原田 敬三	きずな推進委員	堀澤 正一	校区きずな推進委員	荒木 政博
サブリーダー	竹内 信子	校区きずな推進委員	高橋 学	校区きずな推進委員	加藤 征一
きずな推進委員	池畠 泰彦	校区きずな推進委員	室谷 隆	校区きずな推進委員	小田 則子
きずな推進委員	雨洗 康江	校区きずな推進委員	小林 靖親	校区きずな推進委員	足立 知也

## 退任委員

きずな推進委員	川島 芳治	きずな推進委員	須賀川 信之	校区きずな推進委員	杉山 恵子
きずな推進委員	伊藤 隆夫	校区きずな推進委員	手塚 輝幸		
きずな推進委員	岡本 政志	校区きずな推進委員	佐々木 進		

1. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

平成28年(第3期1年目)

はまなす町内会	鷺別町4丁目町内会
ありあけ町内会	鷺別町6丁目町内会
はまわし町内会	ひまわり町内会
鷺別2丁目町内会	
鷺別3丁目町内会	

実施率 88.9% ( 8 / 9 )

令和2年(第3期5年目)

はまなす町内会	鷺別3丁目町内会
ありあけ町内会	鷺別町4丁目町内会
はまわし町内会	鷺別町6丁目町内会
鷺別1丁目町内会	ひまわり町内会
鷺別2丁目町内会	

実施率 100.0% ( 9 / 9 )

2. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

平成28年(第3期1年目)

ふれあい健康サロン	あいあいサロン
おいでやサロン	サロンあじさい
はまわしの会	かもめ
4丁目サロン	
リビエールサロン鷺楽	

令和2年(第3期5年目)

ふれあい健康サロン	あいあいサロン
おいでやサロン	サロンあじさい
はまわしの会	かもめ
4丁目サロン	
リビエールサロン鷺楽	

ふれあい会食会

平成28年(第3期1年目)

はまなす町内会	鷺別3丁目町内会
ありあけ町内会	鷺別町4丁目町内会
はまわし町内会	鷺別町6丁目町内会
鷺別1丁目町内会	ひまわり町内会
鷺別2丁目町内会	

実施率 100.0% ( 9 / 9 )

令和1年(第3期4年目) ※令和2年は事業中止

はまなす町内会	鷺別3丁目町内会
ありあけ町内会	鷺別町4丁目町内会
はまわし町内会	鷺別町6丁目町内会
鷺別1丁目町内会	ひまわり町内会
鷺別2丁目町内会	

実施率 100.0% ( 9 / 9 )